

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（419）
2. 日 時：令和4年12月2日 13時30分～15時35分  
15時45分～17時25分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官、片桐主任安全審査官、宮本主任安全審査官、  
秋本安全審査官、大塚安全審査官、小野安全審査官、  
上田審査チーム員、長江技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他9名

原子力事業統括部 原子力安全推進グループリーダー※、他3名

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

## 6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（重大事故等対処設備）2.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備【45条】（SA45 r. 4. 1）
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（重大事故等対処設備）比較表 2.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備【45条】（SA45-9 r. 4. 1）
- （3）泊発電所3号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等（SAT102 r. 4. 1）
- （4）泊発電所3号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事

故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料 比較表 1. 2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 (S A T 1 0 2 - 9 r . 4 . 0 )

(5) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7. 1. 2 全交流動力電源喪失 (S A E 7 1 2 r . 6 . 1 )

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁アキモトですそれでは、本日の泊発電所3号炉のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:12	はい。それではまずは、資料の説明を、
0:00:18	北海道電力からお願いします。
0:00:21	はい。北海道電力の方ですけれども、まず
0:00:25	S Aの有効性の評価の中でS B Oに関するR C Pのシールの特徴について説明まずさせていただきます。本店の芝田の方からお願いいたします。
0:00:37	はい。北海道電力芝田です。それでは、
0:00:41	別紙6というふうなこと、うちでS B Oの資料に1枚、追加させていただいて
0:00:47	改良型塾C vについて説明を用意してございますので説明します。
0:00:52	図面左側を従来塾シールで右側は軽かった塾生部です。
0:00:58	耐熱リング作用によるS B O時体力向上ってことで各塗っているところが耐熱リングなんですけども、S B Oにおいて軸シール部の冷却を創出する等
0:01:10	L I X I L部分がこうなるC sにさらされるんで、
0:01:14	藤相田から諸星してるリングがあるんですけども、これが温帯環境下で時間が経つと漏れてしまっただけで数えに繋がると。
0:01:25	課題熟しアカン利用型の軸Cではこれが環境に体力を向上させた耐熱リングというふうなことでシールできる時間を延ばしたことによって、
0:01:36	シール全体としてのS B O時体力向上、
0:01:40	を図った。改良を行っているというものですのでこれでお城かみたいなことになるまでの時間ををすることが長く書かれるようになったと。
0:01:50	いうのもう一つこれはS B Oとんではなくて通常運転の安定性の向上というふうな観点で行っているんですけども、ナンバーはシールの摺動部分であるフェースプレートですね。ここは
0:02:02	軸との当たる部分、頭あたりはしないんですけども軸に、駅に設置する部分なんですけども、これを形からして
0:02:10	ファイルを並行して大型することによって、
0:02:13	ガイドンあってもここら変形したりとかすることで、リーク量がこう変動したりっていうふうなことをほぼするっていうふうな特性の安定化を図ってるっていうふうなことが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:23	改良点というふうなことでまとめさせていただきました。
0:02:27	説明は以上となります。
0:02:31	はい。規制庁沖本です。これ、こちら規制庁側から確認したいということで作っていただいたんですが、
0:02:40	ちょっと細かい話で確認したいのが、
0:02:45	これは結局耐熱リングっていうのがあれなんですかね、従来型より。
0:02:52	10、すみません、従来型は何度まで持つとか、そういう話っていうのは、
0:03:01	オープンにできる感じなんでしょうか。高温環境下っていうと、何どうとか、そういうのをオープンにできるような感じでしょうか。
0:03:15	配慮熟シールに対して実証試験みたいなものは行って
0:03:22	こういう温度条件等で持つっていうふうなことはお示しできると思うんですけども従来品、改良品、どこまでいったら
0:03:33	俺も漏れるようになるかっていう何か究極の耐力試験みたいなものはちょっと持ち合わせてないんですねそこが
0:03:46	何時間などみたいな限界値みたいなものをちょっとご提示することはちょっと困難な状況でございます。
0:03:54	規制庁秋本ですわかりました。そしたら示せる範囲で構わないので、その高温環境下っていうものの
0:04:04	スペックというか、ものは、
0:04:08	マスキングでも構わないので、
0:04:14	追記をしといて、
0:04:16	していただければと思いますので、もし可能であればその試験の
0:04:22	内容まではあれなんですけど、概要的な、
0:04:27	ところが、
0:04:29	わかると。
0:04:32	理解が進むかなと思いますので、
0:04:36	多分マスキングになるかもしれないんですけど、そこを少し補足しておいていただければと思います。
0:04:44	いかがでしょうか。
0:04:47	はい。試験は以前もコメントとしていただいて次回ヒアリングでご準備しようと思っていましたので、試験内容をこういった試験をして実施してまですっていうふうなことは後全部しようと思います。
0:05:00	と書いて、
0:05:04	時期、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:06	についての日程リティというのは次回ヒアリングというふうにとらえて よろしいんでしょうかそれとも、別途またヒアリング設定した方がよろ しかったでしょうか。
0:05:16	いや、規制庁秋本です。別に
0:05:20	何だろう、準備ができたところで構いません。
0:05:26	次のということになるとは思います。
0:05:31	はい。それでは、M a a S美容師審査会合、北海道電力芝田S S Bを審 査会合設定されてますがそれまでについてというのはちょっと困難ですんで 速やかにそれを
0:05:44	きちんと介護後速やかに資料改正してご説明したいと思います。
0:05:48	わかりました規制庁秋本です。
0:05:51	その他、いかがですか。
0:05:58	気づいても長いですちょっと
0:06:00	確認したいんですけれども、
0:06:05	これまでの説明大飯 34 と高浜。
0:06:10	浅井 4 ウエスティングハウスタイプのウエスティングがそういう実験を やった今体制の強いルー。
0:06:21	そのダブルキャップ運用されたと思うんですけれども、
0:06:26	その時の資料かわりの時の漏洩量とかっていうのが書かれてて、で、
0:06:31	それ、それで
0:06:33	三井泊 3 号機の方は三菱椎野、カエルシールっていうことで、
0:06:40	ほぼ同じ値だったと思うんですけれども、
0:06:43	その時に何で私が確認したかったのはその三菱がやった実験っていうの が、基本的にはウエスティングでやったその実績、
0:06:56	値と同程度になるような体制があるっていうことを、
0:07:00	何ですかね、ほぼ三菱が自社であった時、試験結果っていうので
0:07:07	説明できるっていうそういう理解でよろしいですか。
0:07:12	はい北電芝田ですシールL O C Aになった場合はもう知る関係なく、そ れより上流の部分で漏れてくるものはすべて漏れるとしてるんであまり シード関係ないというふうなところでございます。なんで実験で検証す るのは、
0:07:26	シール、S B Oのような環境にさらして、どれだけ漏えいしてくるか というふうなところで今の
0:07:36	資料では、
0:07:37	1.5 立米だと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:39	落下と記憶してございますがそのあたりを担保できるような実験結果をお示しするというふうなところかと考えてございます。
0:07:46	通常の流れです基本的にある程度ある程度温度上昇があつて、そこまでのその体制が三菱であり、
0:07:57	ウェスティングなりも同等かっというそういうそういう趣旨の質問なんですけども。
0:08:04	はい。結果として、北電芝田です。結果として解析に用いてる値が同等であり、我々がこれから示そうとしているものはその解析結果を、
0:08:16	担保できるような実験結果を提示することを考えてるんでそういった観点では同等と言っても差し支えないかなというふうに考えてございます。
0:08:25	規制庁の長井ですわかりました補足せ、説明資料でこれを追加していただく際に、そういう、その辺の何ですかね
0:08:36	評価との関係でどういう取り扱いであつて、それは何ていうかシール自体の体制ということも踏まえた上で
0:08:47	殊、なぜウエスティングハウス数と三菱のものを、自体はもう同等であつて、かつそのC評価になったときの取り扱いについても、
0:08:58	特段違う相違したような取り扱いをしていないというそういう理解ということよろしいですかね。
0:09:07	はい試験についてはSBO条件を模擬して解析でやとつた。
0:09:14	値がそ、おかしなものではないってことを検証するというふうな形であまりこう、
0:09:19	御社との比較っていうふうな観点では実施してございませんが結果的にはそういった同等性みたいなものも見ていただけるかなというふうに考えてございます。
0:09:29	規制庁永江ですわかりました。そしたらこれを含めた
0:09:33	説明資料の改訂版というか、それをまたまとめてご説明していただければと思いますので、よろしく願います。
0:09:44	はい。北海道電力芝田ですかしまりました。
0:09:52	規制庁かだけですねちょっといくつか確認させて欲しいんですけど100D型RCPで、泊だけでしょうか。
0:10:09	はい。
0:10:11	北海道電力柴田です。
0:10:14	泊
0:10:16	RCPBとなつてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:19	経常的で下の図は従来型シールって書いてるんですけど、
0:10:25	これってものは、ポンプは同じものでもともと、
0:10:32	あれ、何かどっかのタイミングで交換、従来型ってのは、どういう、
0:10:38	どっかのタイミングで交換されたとかそういうことなんでしょうか。
0:10:43	はい1号機はあの時、北電柴田です。12号機は従来型シールを使用してまして、今後交換するというふうなことが考えられます。
0:10:54	この辺で3号は建設時より採用されているというふうに書かせていただきました。私は了解しました。この第1シールの金属ブーマ丸ごとゴソツと書いて後は細かい部分のOリングを入れ替えるようなイメージでしょうかね。
0:11:12	はい。大きくそういった変更となってございます。規制庁型技術力で、この耐熱Oリングなんですけど、この高温でもつよようにつよ多分材質かなんか。
0:11:23	はい。多分EPDMとかだと思っんですけど材質を変えてその高温に持つようになったっていう理解でよろしいでしょうか。
0:11:34	はい材質、
0:11:38	ちょっと
0:11:40	材質は推定されているようなものですがちょっと
0:11:47	変更。
0:11:48	内容ちょっと書けるかどうか確認して次回回答させていただきたいかと思えます。形状課題ですもともと何使ってこれに変えたからこっだけ持つようになったみたいなことをちょっと書けるかどうかちょっと検討をお願いします。
0:12:01	私からは以上です。
0:12:07	奥田芝田です。了解いたしました。
0:12:11	はい。規制庁秋本です。一応邪気この部分については規制庁から以上ですの、またよろしくをお願いします。
0:12:19	はい。
0:12:20	それでは、
0:12:21	よろしいですか芝田さん。
0:12:25	はい、かしこまりました。芝田ここで退席させていただきます。はい、承知しました。はい。
0:12:31	規制庁秋本ですそれではじゃあ続いて1.2の高圧時冷却ですかね、その資料のご説明をお願いします。
0:12:47	では、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:48	はい。北海道電力の藤田です。では引き続き技術技術的能力 1.2 それから正常分 45 条の適合状況についてご説明させていただきます。
0:12:58	この順番で説明させていただきたいと思います。説明は古谷からしたいと思います。
0:13:07	北海道電力古谷でございます。技術的能力の 1.2 への比較表を使いましてご説明させていただきたいと思います。
0:13:18	比較表の
0:13:20	下、一番最後の方にですね、比較対象プラントの設定の詳細という、
0:13:28	資料がございます。比較表が 1-2-111 ページまでありましてそのあとの 1 枚なんですけれども、
0:13:38	比較対象の
0:13:41	選定の検討さ、資料を修正してございますのでまずそこをご説明したいと思います。
0:13:50	基準適合に関わる設計を反映するために比較するプラントとしてとしましては大飯 34 号を選定しまして、こちらについては、
0:14:01	S A 対策として蒸気発生器の二次側による炉心冷却手段など BWR とはちょっと設備が大きく異なりますので多い 34 号を選定してございます。
0:14:13	先行審査実績、知見を反映するために比較する対象プラントとしては女川に大野さんを選定させていただきまして比較表による比較を、
0:14:25	今回、しておりますので、その部分を反映しております。①番としまして、比較表を掲載し、
0:14:35	先行審査時、知見を比較整理して反映してございます。ただ BWR 固有の設備で対応手段と
0:14:45	基準適合基準への適合性を網羅的に比較する観点としては方位 3453 と比較してございます。
0:14:56	その次のページに、
0:14:58	添付資料まとめ資料のですね項目を整理、横並びにしまして、
0:15:06	作成の状況整理表を作っております。これの修正部分を説明させていただきます。
0:15:14	まとめ資料、真ん中辺りの泊 3 号炉作成状況について比較表ですけれども、もともとご提示した時には比較表を作成しないということにしておりますが、
0:15:26	策、比較表を作成することにしてバツから②、主行く修正してございます。上の方の作成理由と、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:37	追加することにした理由を記載してございまして、
0:15:42	先ほど来、口頭で申した通り
0:15:45	PWRの固有の設計に基づく対応手段になりますので、比較表は大飯3453との2円比較表を作成してございます。
0:15:58	項目として真ん中あたりに、添付資料の1-2の15解釈一覧というものがありますが、こちらは女川さんの審査実績を反映ということで泊として解釈一覧を作成してございますので、
0:16:14	こちらは大井さんに、はない資料になってございますので女川さんとの2連比較を考えてございます。
0:16:21	その下も、基本的にはPWRの対応手段を説明する。
0:16:26	紙資料にはなっておりますので大井さんとの比較資料を比較表を作成することにしてございます。
0:16:35	その次のページの比較表の作成範囲については今口頭でご説明したことを反映しているものでございますので説明は割愛させていただきます。
0:16:49	比較表に戻っていただきまして、
0:16:55	8月31日の提出I Iさせていただいたものから主な修正内容を、
0:17:01	す、説明させていただきたいと思います。
0:17:05	1-2の7ページをお願いいたします。
0:17:14	1-2-7ページからは対応手段のと、設備の選定、この辺りから、
0:17:22	説明、主な説明がこう書かれていきますんで、
0:17:26	女川さんとの比較によって修正した部分は、黄色で、
0:17:32	ハッチングをして、修正部分を示してございます。
0:17:38	それから、
0:17:41	大井さん等の翁長さんの部分を審査実績で反映した部分については大井さんと相違が出てきます。その部分についてはそういう理由を右側に書いてございますが、
0:17:54	泊欄の
0:17:57	着色についてなんですけれども、例えば
0:18:03	1-2の7ページの上から2段落目の2行目ぐらいだと、本来は
0:18:13	炉心の著しい損傷亡失っている部分については、
0:18:19	女川さんに合わせたので、泊欄はですね黒、
0:18:23	着色をせずに苦勞にする、黒文字にするというのが、当社の資金の固定、ご提出してます比較表。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:33	の着色のルールなんですけれども、ちょっと資料では素行を統一できて ございませんで、申し訳ございませんこのあたりは着色くうの仕方は統一 して、修正して提出。
0:18:48	したいというふうに考えてございます。
0:18:52	それからですね、
0:18:54	A BWRの固有の設備についてはですね、女川さんのところの欄を見て いただくと、原子炉隔離時冷却提携とかですね、高圧炉心スプレイ系の ところについては、
0:19:08	BWRさんの固有の設備ですので灰色でハッチングさせていただきまし て基本的にその構文
0:19:16	資料構成等が比較できるように工夫させていただいてございます。
0:19:26	この辺りの灰色のハッチングについては有効性評価の、お示した資料 と同じルールでやってございます。
0:19:35	それからですね、江藤1の2-7ページの、
0:19:43	一番下のところに(2)番の対応手段と設備の選定の結果という欄がご ざいます。ここで
0:19:53	高圧時冷却のですね設計基準事故対処設備である補助給水ポンプ、それ から主蒸気逃がし弁等がありますけれども、こちらが県と基本的には故 障想定で土肥。
0:20:06	必要な重大事故と対象設備を選定するんですけれども、
0:20:11	これが健全であれば、重大事故等対処設備括弧設計基準拡張として用い ますということで、SA設備の設計基準拡張という、
0:20:21	BWR、女川さんの審査実績を取り込んで、
0:20:26	手順等も整備してございます。
0:20:30	次のページの1-2の8ページをお願いいたします。
0:20:36	あと設計基準拡張で用います電動補助給水ポンプ等のところの下のと ころに、
0:20:42	二次冷却設備、給水配管で給水設備配管、それから補助給水設備、配管 弁等の流路となるような配管とか弁、操作するもの、それから、
0:20:56	スターの江藤電源設備についても、女川さんの審査実績を見ながら、電 源設備の名前もグルーピングをしながら、反映してございます。
0:21:12	次は14ページ、1-2の14ページをお願いいたします。
0:21:22	14ページの真ん中少し下ぐらいにBポツということで、サポート系故障 時の対応手段設備を記載してございます。
0:21:33	もともと大井さんの方、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:36	の作りと同じ、泊も同じ作りをしてございました。
0:21:41	ただサポート系の装置の対応手段をただ羅列していただけたんですけれども、
0:21:50	女川さんの資料を見ながら、括弧として、全交流電源喪失等常設直流電源系統喪失時の対応手段、それからその次の
0:22:02	1-2 の 16 ページ辺りには、
0:22:07	上から括弧Bの復旧、復旧をする対応手段と、女川さんの審査実績に合わせた資料構成をと。
0:22:19	そして、対応手段を説明するような資料構成としてございます。
0:22:26	それから、
0:22:28	1-2 の 24 ページをお願いいたします。
0:22:38	一番上の方から、1-2-2、重大事故等時の手順ということでここから詳細な操作手順や手順着手の判断基準を記載してございます。
0:22:49	フィードアンドブリーチ時冷却系のフィードアンドブリードの手順を書いてございますけれども、この辺りからはPWRの固有の提示対応手段になってございますので、
0:23:02	女川さんのところの記載はグレーハッチングさせていただいて基本的には大飯 3453 と、
0:23:12	合わせて、し、
0:23:15	記載しているという形にしてございます。
0:23:20	ただ 1-2 の 24 ページの
0:23:25	一番下の方に女川さんの欄を見ますと、
0:23:29	操作する弁の名称であったり、操作内容が、詳細に書かれていることを、とか、
0:23:39	確認してございますので、この辺りの情報については、
0:23:44	1-2 の 80 ページの、
0:23:50	1-2-80 ページをお願いいたします。
0:23:57	左、一番右の 3、泊 3 号炉の欄のところ、
0:24:01	概略敬三図をつけてございまして、そこに衛藤。
0:24:07	弁操作する弁、機器、
0:24:10	2、②とかですね、付番をつけてございます。これが操作手順とひもづく番号になってございまして、
0:24:20	ここの概略図のその下に、
0:24:23	操作手順の紐づく番号と、操作対象機器、それから、操作する内容を状態の変化というふうに記載しまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:34	点、この辺りは添付書類 10 の追補になる部分ですけれども、女川さんと記載レベルを合わせて、
0:24:44	作成してございます。
0:24:47	その他、タイムチャートイヤーその他の図とか表についても、女川さんを参照にし、しながら、富谷さんの観点で図の表、図表も修正してございます。
0:25:03	簡単ですが説明以上でございます。
0:25:08	はい。規制庁秋本です。それでは、上の方からですねちょっと確認をさせていただければと思います。
0:25:38	規制庁秋本です取りまとめた資料の 1 ページを、
0:25:44	見ていただいて、
0:25:47	自主的に変更したもののところなんですけど、これも、
0:25:53	これっていうのが、この自主的に変更っていうのが、
0:25:58	何ていうんでしょう、いつのタイミングで、
0:26:02	変更をされているのか教えてもらってもいいですか。
0:26:11	北海道電力古谷でございます。
0:26:15	変更した時期といいますかどの、いつ提出した資料から修正したものかということについては、
0:26:27	上に 2017 年 3 月に一度提出させていただいた、取りまとめたまとめ資料ですね、そこから修正したものということで、
0:26:39	2021 年、8 月の、今年の 8 月 31 日にご提示した資料でも、ここは修正してございます。以上です。
0:26:53	はい。規制庁秋本ですわかりました。
0:26:58	えーっと、
0:27:00	この
0:27:03	等は、
0:27:04	耐震化にともないんです。
0:27:08	ごめんなさい 2 個目のポツの屋外の自主対策設備やろ過水タンクの耐震化に伴い関連する図面等修正者なんですけど、
0:27:20	耐震化で図面が変わるっていうのは何かどういうことなんです場所が変わったってことです。
0:27:29	北海道電力古井でございます。ろ過水タンク二次系純水タンクというのは屋外にある大型の
0:27:38	常用で使うような純水を食べているタンクなんですけれども、内部溢水の方の屋外の溢水評価の方で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:51	このこの設備については耐震化をしました。その結果ですね、
0:27:58	形は 8 基あったものが、6 基に
0:28:03	数が関わっているところとありまして、それをですね。
0:28:11	台数が変わったもので図面を修正したということでございます。
0:28:17	規制庁脇本ですわかりました。
0:28:21	一応、だとすると、あれですね、ここ、もし何か、何回も聞いちゃうと、
0:28:28	申し訳ないので、耐震化に伴い、
0:28:32	だから何だから、その関連する図面等を修正したって書いてくれると、
0:28:37	わかりましたと、読めばわかるようになると思うので、ちょっとここは少し修文していただいた方がいいかなと。
0:28:45	はい。北海道電力古谷でございます。説明が足りませんでしたので、修正いたします。
0:28:53	規制庁秋本です。取りまとめた資料の 2 ページなんですけど、
0:29:03	2 ページは、
0:29:06	10、
0:29:07	2 個目のやつで、
0:29:10	充填ポンプによるのところが、伊方と一緒に相違はないですよっていうことなんですけどこれはあれなんですよ。すいません。大井を私あんまりちょっと勉強してないので、
0:29:25	大井ワー
0:29:27	単純にないってことなの。
0:29:32	北海道電力古谷でございます。
0:29:34	衛藤大井さん 4 号炉さんも、充填ポンプはあるとあります。
0:29:42	あと各社、それぞれあるんですけども、
0:29:48	基本的には高圧注入ポンプを S A 設備にしまして一次系、一次冷却系のフィードアンドブリードを行いまして、同じように注水できる充填ポンプを自主対策設備に、
0:30:02	してるのは伊方さんと泊とございます。あと
0:30:08	仙台さんや高浜 34 号のようにチャージング S I の場合は、ポンプが一つで充填と、高圧注入と機能を持っていますのでそういうところには、
0:30:22	充填工中にポンプだけを変えているプラントとかっていう形で PWR の PWR の中でも、
0:30:30	設備によって少し違ってございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:38	規制庁秋本です。わかりました。それではあと鈴、次 303 番ですね③番で、
0:30:46	ここはちょっとよくわかんないなと思ったんですけど一番最後の行で、自動切換と類似したシステムであるって書いてあるじゃないですか。
0:30:56	自動類アース類似っていうところにまずちょっとはまったんですけど、
0:31:03	市、これはだから、泊は主導で、
0:31:11	だけど、
0:31:13	何でしょう。スイッチ 1 個で弁が自動で切り替わるっていう。
0:31:18	から類似っていう、このすいません類似っていうす何かことを少し説明してもらっていいですか。
0:31:27	はい。
0:31:28	口頭での説明で大変申し訳ございません大飯 34 号炉さんとかですね高浜 34 号炉さんとか関連プラントさん。
0:31:39	というふうに記憶してございますけれども、
0:31:43	燃料取替用水ピットという水源の水位の低下で自動で
0:31:49	再循環運転自動で切り替わっていく、要は
0:31:54	運転員の手動操作なく、自動で弁とか必要なポンプが起動したり、サクシオンが、ポンプの入口のサクシオンが切りかわったりというのが自動で行われます。
0:32:09	泊については、
0:32:12	首藤の中央制御室の操作器で一つのスイッチをですね、切り換えボタンを押すと、
0:32:21	ンポンプの自動、必要なポンプの自動起動や弁の切り換えが自動切り換えするので、それを高浜大井さんと比較して類似という言葉を使いました。
0:32:36	我々としてはその手動切替。
0:32:40	というのは
0:32:44	川内さんや玄海伊方さんはですね
0:32:50	水源がもう切り替える弁とかの、
0:32:54	そういう切り換えするのも、中央制御室の制御盤のスイッチで一つ一つ切り換えていく手順になっておりまして、
0:33:04	設備になってございましてそのあたりは、手動というふうに
0:33:09	手動操作というふうにちょっと言葉を理解してございまして、そういう点で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:18	操作スイッチ一つで、再循環運転に切り替わっていくので自動切替で、大井さんと類似してるというようなそういう言葉の使い方をしたということでございます。
0:33:34	規制庁脇本です。一応だから、首藤は首藤っていう理解でいいんですかね。
0:33:41	はいそのご理解でいいと思います手動の操作器一つ操作するというのは、間違いございません。
0:33:49	規制庁アキモトですなんかちなみにこれが設計思想で何かメリットデメリットみたいなものがあるからこうしてるんですか。
0:34:00	北海道電力古谷でございます。泊3号機の建設の設計の考え方としてリファレンスとしては伊方3号炉3をリファレンスにしておりますが、
0:34:13	泊12号もそうですけれども、
0:34:16	基本的にリファレンスの伊方さんも、一つ一つの弁をですね中央から操作スイッチを一つ一つ操作して、
0:34:27	切り換えていくっていうのがリファレンスプラント設計だったんですけれども、
0:34:34	運転員の主操作の省力化を、
0:34:40	設計に取り込んで、
0:34:45	一つ一つの便器機能操作スイッチでの手動切替よりも、
0:34:50	切り換え操作一つで自動で切り替わっていく、システムを設けることによって、
0:34:58	それまでのリファレンスプラントよりも省力化をしたというような考え方でございます。
0:35:10	規制庁アキモトです。
0:35:12	首藤希莉。
0:35:13	はい。ではあるものの、少しよく良くなっているっていうりかなんです。
0:35:21	理解でよろしいと思います。
0:35:28	北海道電力の藤田ですけども、格段に良くなってると思います。1個1個切り換えていくと、かなり時間かかりますんで、それがボタン一つで、
0:35:38	一連のシーケンスでポンポンポンポンとこう切り替わっていきますんで、
0:35:44	格段に泊12号機もその1個1個切り換えていく、今まだそういう手順でやっていくんですけども、それと比べてもはるかに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:54	流れて、スムーズに動いてきますんで、格段によくなってます。
0:36:34	規制庁秋本です。だから、大岩完全時自動でだから泊は、少し人が介在しますってところで、
0:36:44	千田、逆になんでその、
0:36:47	すべてをとというか、にしなかったのか、っていうのは、
0:36:52	あれなんすかねあの人。
0:36:54	やっぱり判断した方がいいっていうふうに、北海道電力は考えてるっていうことですか。
0:37:01	北海道電力でございます。
0:37:06	燃料取替用水ピットの水、等を鑄鋼中にポンプで注水して再循環サンプにきちんとその水が、
0:37:17	たまってるかどうかっていうそのサクションを切り換えた後にですね、
0:37:22	高圧注入ポンプとか余熱除去ポンプの再循環運転するポンプがきちんと
0:37:29	水源を確保できているかどうかっていうことを、再循環サンプの水位で確認する手順になってるんですけども、その
0:37:37	燃料取替用水ピットの水位がしっかり下がっていて、注入先のその再循環サンプの水位がしっかり上がっているということを確認した上で、
0:37:48	運転員が切り換えた方が確実にポンプを構想させることなく、切り替えるというふうには考えた、考えているところです。
0:38:00	規制庁秋本ですわかりました。そしたらですね設計思想みたいなのを、
0:38:06	何ていうんでしょう。別にこれで劣ってるわけではないよっていう意図で類似したシステムって書いていただいていると思うんですけど、何かさらに理由があるのであれば、
0:38:16	そこもうちょっと追記しといていただければと思います。
0:38:23	北海道電力でございます。了解いたしました。
0:38:33	規制庁永江です多分おっしゃることは十分理解するんですけどねここでポイントになるのは、
0:38:41	自動でその機械の信頼性で確実にその申請でもって切り替わるっていうものと、皆さんのように
0:38:51	一旦人間が判断した後にその次の操作は手動で時間を短縮されたりっていうのはあると思うんです。そこは
0:38:58	決定的に違うところであって、やっぱり首藤は指導だと思うんですよ。で、人間が判断するっていうことで、そういうその確認の行為が重要になって、過誤もあり得るっていうことだと思うんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:10	類似っていうのは、ちょっと全然意味が違う話なんで、手動で判断して切り換えて、そのあとの操作自体は、自動的に行われるっていう、
0:39:21	その類似っていう話はちょっと混乱招くと思うんですよね。だから、そういう、そういうところの正確なこの事実関係だけを書かれた方がいいんじゃないかと思うんですけども。
0:39:34	ご指摘ありがとうございます類似という言葉がちょっと混乱、
0:39:38	を招いているというふうに理解いたしましたので、言葉の使い方も気をつけながら事実、記載をして、大飯 34 号炉さんと、
0:39:50	遜色ない手順になっているということをきちんと説明できるように、資料を修正したいと思います。
0:39:57	花輪ですそれ、それでよろしくお願いします。
0:40:03	規制庁秋本ですそれで取りまとめた資料の 3 ページ名。
0:40:09	いきますと、ちょっと丸 2 のところなんですけど、
0:40:14	泊 3 号は中操のみで通常の在宅手順についても、概要図を示しているなんですけど、
0:40:22	これって、何でって、
0:40:24	何んなりませんこの文字読んでて。
0:40:28	なんで、示しているのはそれはそうなんでしょうけど、
0:40:33	それで、なんで、
0:40:36	そうしているんですかっていうところで説明してもらってもいいですか。
0:40:42	北海道電力伊礼でございます。
0:40:46	概略図については選定してる手段については必ず必要かなというふうに思っております、大井さんと比較すると、
0:40:58	中央制御室のみの
0:41:02	対応手順の概略図が大井さんになかったものでこういう記載をしてしまったんですけれども、基本的にはその
0:41:10	対応手段として選定したものに対しての、説明する事項として、概略図は当然必要だというふうに考えておりますので、
0:41:20	この辺りは少し説明を補足を追加したいとござ、考えております。
0:41:28	わかりました。読んでわかるようになってれば我々も読みますので。はい、わかりました。で、あと③番なんですけど、
0:41:37	③番は、
0:41:42	PW、
0:41:46	これはだから何だっけなえーつとですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:51	だから、PWR先行プラント層位なしなんですけど、これは、
0:41:57	何て言うんでしょう、どういう意図でしょうか。
0:42:02	大岩。
0:42:03	ないけど、
0:42:05	ていうことなのかな、何て言うんでしょう、どっか明示的に発電所リファレンスプラントというか、があるっていう感じなんですか。
0:42:17	北海道電力古屋でございますと有効性評価。
0:42:22	SBOシールLOCAですね。
0:42:28	主蒸気逃がし弁を現場で開ける。
0:42:32	という操作については、フィーダVrすべてです。
0:42:37	プラントでその対応手段で有効性評価してございますので、これは全プラントということになります。
0:42:44	はい。以上です。
0:42:47	じゃあ木本にそれで、上の部分はなおより前が泊独自だっていることですか。
0:42:56	保険の電力0でございます。上の部分のSBOで大破断LOCAが発生するような事象というのは、
0:43:06	有効性評価で説明することになります格納容器の過圧破損、
0:43:14	シーケンスになります。
0:43:16	この時に泊としては、
0:43:20	所長機関数、
0:43:23	という主蒸気管という太い配管の
0:43:27	CV貫通部がありましてその中の環境が、
0:43:31	炉心損傷するような事故シナリオでは環境が悪化しますので、主蒸気逃がし弁の現場手動操作をさせないように、手順着手の判断を
0:43:42	明記してございます。
0:43:48	CV過圧破損のシナリオで、主蒸気逃がし弁の現場操作を
0:43:54	タイムチャート等を書いてないプラントとしましては、伊方の3、
0:44:00	とかですね、九州電力さんの、
0:44:04	川内さんとか玄海さんもそうだったと記憶してございまして、
0:44:09	ただ江藤関電さんのプラントでは、実際には現場に行かせないと私のすいません想像ですけれども
0:44:22	タイムチャ等の方に主蒸気逃がし弁の現場操作が書かれてある。
0:44:28	部分もあったので
0:44:31	基本的にSBO大LOCAで主蒸気逃がし弁。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:36	の現場に行かない。タイムチャートになっているのは、伊方さんや九州さんの電力でございましたのでそこは、
0:44:45	泊も先行と同じなのかなというふうに考えております。
0:44:50	規制庁秋本です。わかりました。じゃあ、先行例があるってということなんです。なお書き前も、
0:44:58	はい。その通りでございまして、そのあたりも説明を追加したいと思っております。規制庁秋元です。ちょっと我々も効率化のために、
0:45:10	差分をまずは理解した上でそこについて議論をする必要があるのかどうかというところをポイントで見私は見ているので、
0:45:22	先行例があるのであれば、それ書いといていただくと、数効率的かと思うので、お願いします。
0:45:37	規制庁アキモトです。後は取りまとめた資料の4ページの、
0:45:41	④番も、ここも
0:45:45	具体的な操作手順を記載している箇所で直接リンクさせる記載としているところが、事実は、わかりそうですね。ということで、
0:45:56	理由はっていう欄なので、
0:45:59	多分あれですかこれは、女川とかの、
0:46:03	反映とか、
0:46:08	あと北海道電力古谷でございます。
0:46:12	この辺りの詳細な
0:46:16	手順、
0:46:17	番号のですね、ところまでリンクさせてるのは、この泊としては統一している記載なんですけれども、
0:46:25	フェイス、
0:46:26	まずそういう理由が少し足りない部分がある、全般的にあると思っておりますのでこの辺りも少し
0:46:34	そういう理由をしっかりと書いた上で、水溶性修正したいと思います。はい。
0:46:44	はい。北海道電力布田です。できるだけわかりやすく、衛藤。
0:46:51	探させない資料、少しでも等が考えてございます以上です。
0:46:58	規制庁秋本です。わかりました。可能な限り理解をした上でヒアリングに臨もうと思っておりますので理由があるのであれば、もう書いといてもらえればと思います。
0:47:11	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:12	それで大体差分のところは、今のところで理解をしましたと。で、具体的な比較表入っていただいて、
0:47:23	まずは1、1枚目の
0:47:27	何て言うんでしょう。凡例なんですけど、設備の方にはちょっとちゃんと書いていただいているんですが灰色の理由っていうのを、一応手順も同じ。
0:47:39	かとは思うので、
0:47:42	一応、1、ヘッダーのところに入れといていただければと思います。
0:47:52	少々お待ちください。
0:48:02	グレー、灰色ハッチングの判例について、明示してませんでしたので、
0:48:09	合わせて記載したいと思います以上です。
0:48:14	規制庁秋本です。あと中身を見ていけばずっとわかるのかもしれないんですけど目次ベースで見てたところのCポツの括弧Bなんですけど、市、
0:48:26	女川に自主対策設備ってあって、穴井なんてとそういう単純なことなんですけどここは何かあれなんですって。中身見ればいいのかもしいんですけど中瀬次長は、
0:48:37	ここでは登場しないっていう感じなんですか。
0:48:41	北海道電力古谷です。こちらの詳細な
0:48:47	手順はですね、
0:48:51	設備名、
0:48:53	少々お待ちください。
0:48:58	比較表の1-2の20ページをお願いいたします。
0:49:08	今の
0:49:11	大井さんと同じ設備になりますけれども、一次冷却系の保有水の監視計器として加圧器水位それから、
0:49:19	二次冷却系の保有水の監視計器として、蒸気発生器の水頭補助給水流量補助給水ピット水がございまして、これらはすべて下にも書いてますが、重大事故等対象設備として選定してございますので、
0:49:35	自主性、自主対策設備は、なすということで整理してございます。以上です。規制庁秋本です。わかりました。はい。
0:49:44	で、目次ベースはそんなところで大丈夫で、1-2の5ページですね。
0:49:53	あんまり色を分けて、そんなにきちぎちやるつもりももちろんないんですけど、一応色を分けて多分

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:03	皆さんがチェックするときにもう少し気になる、気になんていうんでしょうか。
0:50:09	気づけるポイントになるかもしれないので、
0:50:14	私としては社内のやつはちゃんとやった方がいいんじゃないかなっていう気もしないでもないんですけど、ちなみにその1-2の5ページで、真ん中ぐらいに、
0:50:23	大井が、十分な期間のところ※あんじゃあるじゃないですか、これが緑になってて、何でだって思った。
0:50:33	んですが、
0:50:34	でも右も左も変わりもないのになあと思って、
0:50:38	何て言うんでしょうか。だからこれ、これは何て言ったらいいんだろう。緑は何かいいとかあるんでしょうか。
0:50:46	北海道電力古谷でございます。申し訳ございません誤植といたしますか、の動きでございますが、大変申し訳ございません。
0:50:54	規制庁脇本別に、そんなにすごい謝って欲しいと。ではないので大丈夫なんですけど
0:51:00	何ていうんでしょうこれ比較表別にそんなに詰めるつもりはないので、いいんですけど社内でのチェックでつく使えるかなとは思うので、よりよくしていただくのは全然いいかなと思うので、そういう
0:51:14	そこら辺もしっかり見ていただいた方がいいのかなっていうところですよ、
0:51:19	7ページのところなんですけど、
0:51:24	はい。
0:51:28	すいません規制庁長江ですけど
0:51:31	この1-2-1ページの先ほどの
0:51:34	重大事故対象設備の話なんですけど、目次のベースでいくとね
0:51:41	1人1ポツ2ポツ1のポツで、括弧A B C Dで、その重大事故対策設備等自主対策。
0:51:50	はい、対策設備ってのがあってBポツのサポート系の方の話になってやっぱり括弧Cで、重大事故対処設備と自主対策設備があって、そのシーットの監視、
0:52:01	及び制御対応のところにも、
0:52:04	やっぱりその並びでいくと、そのCポツの括弧Bのところ、重大事故対象設備、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:12	自治対策設備があつて、重大対策する時はこれこれで、自主対策設備はないって書くのが何ていうかな、バランス。
0:52:22	ていうか、その中身の整合性の話としてあるんじゃないかと思うんですけど、そのそういう考え方がいいですか。
0:52:32	はい。北海道電力例でございます。
0:52:37	これまでの間のPWRの作り、
0:52:40	としてはこの形と理解してございますけれども、少し女川さんの審査実績とちょっともう少し分析させていただいて、
0:52:52	必要かどうか少し検討させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
0:52:58	わかりましたそしたら、ちょっと検討させていただいてその連絡整合性とか、バランスってのを考えていただいて判断していただいて、
0:53:08	いただければ結構です。はい。
0:53:15	規制庁秋本ですそれは他条文とかの横並びもあるかと思うので、これだけ飛び抜けないように、注意していただければと思いますと。
0:53:26	で、という7.1-2-7ページですね。
0:53:30	これも少し日本GOTHICなんですけど、
0:53:37	(2) ごめんなさい、(2) ですね一番下の方の、
0:53:41	積基準事故対象設備である補助給水ポンプ補助給水ピット並びについてあるじゃないですか。
0:53:49	これは何か皆さん並びに及びは気をつけていらっしゃるようなので、
0:53:55	並びに行つて、これはここで使い方合ってる感じですか。
0:54:00	北海道電力古家でございます。横並びですのでこれは及びが適切だと思いますので修正させていただきます。規制庁秋本です。わかりました。
0:54:09	そういった観点も含めて、社内で多分チェックができるはずだと思うので、
0:54:17	最終段階前までには、
0:54:20	そういうところも見るようにしておいていただければと思いますので、
0:54:25	1-2の9ページですと、
0:54:28	9ページは、ここの、ちょっと女川と比較するのが適切じゃないかもしれないんですけど、
0:54:39	一次冷却系のフィードアンドブリードのところは、
0:54:47	人力のところなぜHパックのところから抜けているのは、
0:54:54	これは人力が単純にないからってということなんでしょうか。
0:55:01	北海道電力古谷でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:03	Hパックの現場手動操作は直流電動弁を現場であれば起動できるという設備になってございますが、フィードアンドブリードについては高圧注入ポンプを交流ですすね、
0:55:17	モーター機能のポンプということもありますし、
0:55:21	加圧器逃がし弁はCV内の空気作動弁ということもありまして、現場手動
0:55:28	操作はちょっとできない設備になってございます。
0:55:34	規制庁秋本ですわかりました。
0:55:36	それで、
0:55:38	あとは手順の方はもう、
0:55:42	そんなないんですが、15ページ行っていただいて、
0:55:51	タービン動補助給水ポンプの現場手動操作による蒸気発生器系の注水のところで、
0:55:59	ところで、一番最初のところでタービン動補助給水ポンプで、現場主括弧酒造現場手動操作っていうのが、
0:56:08	なくなって、
0:56:11	なくなっているっていうわけじゃないすかね。なんか、
0:56:14	消し、大井と比較しているだけなんですけど。
0:56:18	ここは、
0:56:21	ない方で、泊は統一していくっていいんですか。
0:56:28	当北海道電力古谷でございます。
0:56:31	大井さんの設備名称のようにカッコ現場手動操作っていうのがついていました。
0:56:38	ものを、泊はもともとあったんですけども、それを
0:56:43	設備名称はタービンの補助給水ポンプですので、設計基準拡張の設備になりますんでここは
0:56:53	小野川さんを見て、現場での人力キーでの起動操作ではあるけれども、設備名称に修正したというものでございます。
0:57:05	規制庁気持ちす。それは全然それで、それでも構わないですし大井みたいなやり方ももちろんあると思うんですけど、
0:57:15	資料全体で統一がされているかどうかはチェックをしておいてくださいよというのは、多分有効性評価とかも関係してくるかと思うので、
0:57:29	同じ並びになっているかどうかは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:33	チェックしていただければと思います。北海道電力古谷でございます。了解いたしました技術的能力、それからS Aの設備の方で使用している設備名称当然
0:57:47	有効性評価が関係する条文の資料でも展開していきますし、設計基準各社の整理もですね、有効性評価の方にはきちんと
0:57:56	反映していかなければならないというふうに考えてございますので、他条文との横並び
0:58:02	反映して参ります以上です。
0:58:13	規制庁アキモトでそれで18ページです。18ページは、
0:58:23	これはですねえ。
0:58:37	規制庁アキモトです。その18ページの2パラ目というかですね主蒸気逃し弁から始まるパラなんですけど、
0:58:46	これが、
0:58:48	主蒸気逃し弁蒸気発生器二次冷却設備主蒸気排設備配管は、
0:58:56	現場に置いて迅速性、人力操作することによる操作の確実性を有するため、
0:59:06	これが配管は、
0:59:10	人力での操作の確実性を有するってちょっと読めたんですけど。
0:59:18	何ていうんでしょうこれはどこ、どこまで。
0:59:22	書くべきなのかがちょっとよくわからなくなっちゃった。
0:59:27	ですけど、
0:59:29	います。
0:59:30	はい。北海道電力古屋でございます。
0:59:34	もともと大井さんと同じように、主蒸気逃がし弁のみを書いておりますので、鈴木逃がし弁に対して、
0:59:44	首空気ポンペを接続するのと同様以上の作業の確実性がありますということに記載していた文章なんですけれども、
0:59:53	設備の選定として、流路となる設備も、今回、女川さんの審査実績で含めたことで、単純にここに入れてしまいまして文章が、
1:00:07	成立しなくなっております。申し訳ございませんこの辺りは適正化して、基本的には主蒸気逃がし弁に対する説明が、その下のポンペと同等以上というような記載になりますので、
1:00:22	はい、修正させていただきます。申し訳ございません。地域成長脇本ちなみであれですかねこれは女川とかも、ここまでは書いてないですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:34	何ていうんでしょう。流量流路まで書くようにしここの部分について、流量まで書くようにはなってませんよね。あんななっていましたっけ。
1:00:44	当北海道電力古谷でございます。
1:00:47	女川さんも少し左斜め上に、
1:00:53	何々経営で使用する設備のうち、これこれは重大事故等対象設備として位置づけるという文章なんですけれども、この主蒸気逃がし弁の現場手動操作の部分は大井さんを少し
1:01:08	参考にして作成しているところもあって、文章が読みにくいものになってございました基本的には、何々に使用する設備は、
1:01:19	重大事故等対処設備として位置づけるという一つの文書部分構文になってございますので、ちょっと
1:01:28	きちんと文章にするように、すいません。気をつけて修正いたします。申し訳ございません。
1:01:34	気づいて秋本ですわかりました何か意図があったのかどうか少しわからなかっただけなので、
1:01:41	操作の弁でっていう対応になるかなっていう感じですかねそれ何て言うんでしょう。
1:01:51	単純に入れ込むっていう作業を
1:01:54	やらないように、文章として整理するようにはしていただきたいというところですよ。
1:02:02	北海道電力古家でございます。了解いたしました。
1:02:10	規制庁脇本です。で、19 ページですね、19 ページは、何ていうんでしょう。さっきのやつって、もう 1 回全部通して、同じようにない、変なところが、
1:02:24	ないかどうかは、チェックするようにしてください。
1:02:27	19 ページのところは、
1:02:33	何かあれなんですよねこれ。
1:02:35	これは、
1:02:37	一応 G C、
1:02:42	本店で始まるところで、何かの設備っていうのを、
1:02:47	地震の理由を書いてもらう時のタイトルに、
1:02:52	自習の設備を全部列挙するっていうか、何て言うんでしょうこれ。
1:02:59	何か、いやすごい増えてるっていうだけなんですけどこれ、これは系統って書けなかったからみたいな感じですか。
1:03:12	北海道電力古谷でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:16	主蒸気逃がし弁から非常用直流電源設備まで、基本的にこの
1:03:23	空気ポンペを照射手段として使用する設備をすべて列挙して、その上で
1:03:31	自主対策、
1:03:34	設備の手段として使用するものをすべて書いたんですけども、
1:03:50	衛藤そうですね。
1:03:53	少し女川さんの状況が
1:03:58	ちょっと分析が足りないかもしれませんので、
1:04:01	ちょっと、女川さんをもう少し見た上で、
1:04:06	適切な記載をする、少し検討したいと思います。申し訳ございません。
1:04:11	規制庁沖本です。わかりました。なんか女川もすごくシンプルに書いてるところだなってちょっと思ったので、
1:04:18	何か
1:04:20	どこまで書いたらいいのかもちょっとわからないところではあるのですが、だからもしかしたら、この泊の記載が正解かもしれないんですけど、横並び見つ、
1:04:31	ちょっとそこも見といていただければというところですかね。はい。
1:04:37	し、これはちょっと中身の話なんですけど、2個目の点の、
1:04:43	補機冷却水を通水するまで、約44時間30分を有すようするかってところなんですけど、
1:04:53	これは、
1:04:56	電算と整合を図ってこういう書き方をしているということなんですけど、結論は、
1:05:03	多いと。
1:05:05	結局、二次側による炉心冷却、二次側による、人類客必要数となるまでには間に合わないっていうことを、
1:05:14	言いたいっていうことでいいんですかね。
1:05:18	当北海道電力フラグございますその通りです。全交流電源、大井さんの記載のですね、
1:05:26	全交流電源喪失して、
1:05:31	例えばこの補助、
1:05:36	そして二次系の冷却はすぐ主蒸気逃がし弁で、30分後には開放しなければならいんですけども、そこまでには間に合わないということも含んで、
1:05:49	4時間30分が間に合わないということで記載敷いております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:55	規制庁秋本ですそう。何分までにやればいいんだろうってちょっと、これを見て思ったんですが、だから 30 分なんですね。
1:06:10	何かあれですかねそういった時の公文っていうのが、
1:06:15	女川にあるんであればそれを生かしてくるっていう手は一つあるかなとは思ったんですけど。
1:06:21	これが何、何て言うんでしょう。もう少し、
1:06:25	わかりやすくするか、或いは高そっか、1.3 を見てみたら、
1:06:30	もしかしたらしっかり作るのかもしれないんですけど、それが、
1:06:35	4 時間 30 分要するんだけど、
1:06:38	それっていうのは、結局必要となる。
1:06:41	までには間に合わないっていう言い方が、
1:06:44	できるんだったらその方が読みやすくなっている感じですかねちょっと、
1:06:49	何か読みやすくなれば、
1:06:53	良いかなとは思うので、ちょっと工夫ができれば、工夫してもらってもいいですか。
1:06:58	はい。北海道電力古谷でございます。女川さんで、同じような記載がないかを少し確認させていただきますそれから結果大井さんと合わせることがいいのかも含めてですね、記載の適正化をしたいと思います。以上です。
1:07:17	規制庁秋元です。で、21 ページです。21 ページはですね、今日なんでちょっとチェックの話をちょっと聞いたかっていうと、
1:07:29	複数の人で見てんのかなって思ったからだけなんですけど、今までのところも記載っていうのあったんですけど
1:07:37	21 ページで、
1:07:40	何か変だなって。
1:07:42	思いませんっていう質問したら、1 例なんですか。
1:07:47	以上の方なんですけど、重大事故等対処設備を用いて原子炉圧力容器内の水位で変えて、
1:07:57	で、
1:07:59	あれですね、P、P II が泊は、
1:08:02	P の原子炉容器にしてるんですけど。
1:08:08	はい。北海道電力李でございます。
1:08:11	原子炉用、PWR では原子炉容器という設備名称になってございます。
1:08:20	原子炉圧力容器内のすいという、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:26	少し
1:08:28	圧力が入ってる部分、
1:08:31	ちょっと見直し他条文との整合も含めて少し
1:08:38	確認をして修正したいと思います。
1:08:42	規制庁秋本です何て言うんでしょう。お伝えしたかったのはこれ、1回読めば誰でも築ける。
1:08:49	と思うので、本当に1回でも読んだんですかって思っちゃうんですね。
1:08:55	なので、
1:08:57	別に担当者の方は頑張って作っているんで、ちゃんとチェックする人が機能してない可能性があるんで、そこは要注意。
1:09:07	ていうことは、ご認識いただければと思います。
1:09:12	北海道電力の藤田です。申し訳ありません。
1:09:16	しっかり見えてなかったとちょっと反省してます。
1:09:22	規制庁秋本ですそれで1-2の24ページなんですけど、
1:09:28	24ページは、
1:09:32	えっとですね、赤字のところなんですけど、赤字ワー
1:09:36	あそうか、これさっきのやつですね。
1:09:39	わかりました。これさっき聞いたので大丈夫です。
1:09:51	規制庁秋本です。27ページのところで、
1:09:56	(2)の発電用原子炉の冷却化、
1:10:00	すいません二次側によるですSG二次側で、括弧Bの操作手順で、
1:10:08	ここを読んでいて気になったのは、通常の運転操作により対応するなんですけど、
1:10:14	これは大井とあわせ、
1:10:17	ではあるのかなと思いつつ、これBWRって、こういう書き方ってありますか。
1:10:29	北海道電力古谷でございます。
1:10:35	この1.2を見る限りは、女川さんにはそういうのはなかったかなというふうに思っております。
1:10:43	ますせ、その自主対策設備のその選定の仕方た。
1:10:49	PWRんで合わせた選定の仕方もしてもおりますので、その電動主給水ポンプっていうのは
1:10:59	通常のプラントの発電する時に必要な蒸気発生器へ給水する主形成ポンプなんですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:11	本当のその通常運転時位でも過ごせるポンプですので、尾野大井さんを参考はこの記載で
1:11:22	作成してございます。
1:11:24	規制庁秋本です。わかりましたそれで20名。そうすると、その27ページの一番上のところの、一時、
1:11:32	冷却系のフィードアンドブリードなんですけど、これは、
1:11:37	それでは、
1:11:38	1名で5分以内っていう記載があって、
1:11:43	だけど、何ていうんでしょう
1:11:46	何、何名で何分以内っていうふうなの構文かなって。
1:11:51	思っはいたんですけど、それは、
1:11:54	(2)の方では、
1:11:56	書きづらいついていうことなんすかね。
1:12:00	北海道電力古谷でございます。
1:12:05	このように(2)の(ア)(2)の電動主給水ポンプのですね時間が書いてないものについては、
1:12:15	大井さんと合わせておまして、ちょっと目次に少し戻っていただき、
1:12:23	目次に戻っていただきたいんですけども、
1:12:30	1-2の4ページ。
1:12:34	2、
1:12:35	お願いいたします。
1:12:38	添付資料でですね、大井さんでいくと、1-2-9、我々でいくと、1-2-13という添付資料がございまして、
1:12:49	その通常の運転操作手順概要の一覧という資料を大井さんが作ってございまして我々もこれを作っております
1:12:59	電動注水ポンプのような、通常の運転操作のものを一覧化しまして、要員と、
1:13:07	時間をまとめた資料になってございまして今回、
1:13:12	ヒアリングとしてご提示した資料にはその添付資料をつけてございません申し訳ございません最終的には、添付資料もつけた上でご提出したいなというふうに思っ
1:13:26	以上です。
1:13:35	北海道電力古谷です8月31日にご提出した資料には
1:13:43	添付資料がありまして、
1:13:45	その中には、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:47	電動主給水ポンプの操作要員の人数と時間を記載してございます。以上です。
1:14:00	今回論、北海道電力の藤田です。論点整理のスケジュールで何度かお示しさせていただいてるんですけども、まずは本文側を、
1:14:10	をご説明させていただきたいということで、はい。
1:14:14	以上です。
1:14:15	規制庁秋本ですわかりました。じゃあ、とついたときに、見れば、別に人と、
1:14:22	がわかるっていうことなんだということで理解しました。はい。
1:14:29	で、
1:14:31	それで、
1:14:33	えっとですね 28 ページは、
1:14:45	手順着手のところなんですけど、そっか。
1:14:50	すいません。29 ページですね、29 ページで、
1:14:55	操作の成立性なんですけど、これも記載だけなんですけど、
1:14:59	1 時間以内で可能であるって書いてあるじゃないですか。これBWRって、確か何か
1:15:07	ちょっと議論があったのか。
1:15:10	忘れてしまいましたけど何か分で統一を、
1:15:13	スルー。
1:15:15	ような感じで、
1:15:17	書いていたんなんか、300 分だとかですね。
1:15:21	長い時間もなんかそう書いてたような気がしてたんですけど、そこは何か分析されてます。
1:15:28	北海道電力フレアデス申し訳ございません。
1:15:32	そうご指摘されれば、そうだったなというふうに今、
1:15:37	思いまして、
1:15:40	センコーさんの審査の状況も少しぼっちが足りなかったなというふうに思いますそのあたり確認をして、適切に反映したいと思います。以上です。
1:15:52	規制庁秋本です。何かちょっと前もってあれなんですけど、
1:15:57	ああそうですか。いいです。わかりました。ちょっと横並びも見つつ、そういったところも注意していただければというところですので、
1:16:08	29 ページのシート II は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:11	海水を用いた考え方大型送水ポンプ車によるっていうふう書いてあってで、これはあれなんすかねちょっとよくわかってなかったんですけど、いきなり海水に、
1:16:26	なっちゃう感じなんですか。
1:16:29	淡水というか、他のものって挟まない他のものつつうか、
1:16:34	可搬型大型送水ポンプ車はもう海水だけでしょ。
1:16:40	あと北海道電力古谷でございます。
1:16:43	この手段については、可搬型大型送水ポンプ車でそのまま単成下階性を修正して蒸気発生器に直接ですね、注水する手段になっておりますので、
1:16:56	このあたりのその制限の考え方なんですけれども、
1:17:01	比較表の1-2の、
1:17:05	35ページ。
1:17:08	の、下の方の、
1:17:11	赤文字になっておるんですけれども、
1:17:15	(4)の重大事故等時の対応手段の選択のその下の、
1:17:24	可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源はという出だしの、
1:17:31	文章がありますで、ここで、注水の中断が発生しないようにどうしてもその淡水を先に使うと。
1:17:39	水源がいうゲインで、
1:17:43	枯渇してしまうので、
1:17:46	直接その蒸気発生器或いはその原子炉、格納容器この辺りの直接II的にその注水する。
1:17:57	手段については、海水を優先して使用するというような考え方があります、説明としてはここに記載をさせていただきます。以上です。
1:18:10	規制庁秋本です。わかりました。じゃあ、海水が先だからってことですね。はい。わかりましたんで、これのすいません、29ページ戻っていただい1ポツの、
1:18:23	営農手順着手の判断基準なんですけど、
1:18:26	これがー。
1:18:30	前のやつと同じ前のやつって言い方しちゃうとよくないと思うんですけどなんかどれだ。
1:18:43	同じでもないんですね。
1:18:47	そう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:48	BポツのSG直接給水用高圧ポンプによるのとは、
1:18:55	一応ちょっとわかんない。
1:18:59	人は書いてあるけど、
1:19:01	ちょっと、要はですね何が気になったかというと、
1:19:08	ここって順番はあんまり意識しないような感じ。
1:19:14	ですか、この手順着手の判断基準。
1:19:18	で、SG直接、
1:19:21	本分高圧ポンプが使えない時とか、
1:19:26	ていうのは、
1:19:28	ここには、
1:19:30	入ってこないで、
1:19:33	ていう感じなんですかね。
1:19:35	当北海道電力古谷でございます。
1:19:38	手順着手の判断基準については補助給水ポンプというDB設備を保証した ら手順着手をします。
1:19:47	次ページの30ページのところの、手順として⑧番というのがございま して、
1:19:57	可搬型設備ですので時間がかかるので、まず着手をして、要員が当然い れば、準備します。それで、その他の注水手段が喪失していれば、修正 を開始するというそういう使い方でございます。
1:20:13	規制庁秋本です。わかりましたじゃもうとりあえずあのもう着手だけは しちゃうってことですねはい、理解しました。はい。北海道電力で すね。すいません衛藤1の2-94ページの、
1:20:28	対応フローを載せている資料がありまして少し後、薄くて大変見づらい んですけれども、
1:20:39	まとめ資料の1-2-94ページのウ、
1:20:44	エと上から、
1:20:48	点線がこう横に伸びて、ちょっとお待ちください。
1:21:09	北海道電力古谷でございますすいませんまとめ資料の様の方が見やすい ので1-2の88ページをお願いいたします。
1:21:21	上から補助給水流量が80立米未満ということで、これで補助給水系が 使えないというのを確認しまして、
1:21:32	そのあと右側に点線で引いております。これが凡例にも書いてますが、 準備ということで示してございまして、まずは送水ポンプ車の準備をい たしまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:44	左側の注水するポンプたちが使えないというふうに脳で飛んできて初めて注水するというここでフロー図で示してございます。
1:21:55	以上です。規制庁秋本ですよくわかりました。ありがとうございます。
1:21:59	それで、
1:22:03	と、
1:22:04	1-2-31 ページですね。
1:22:08	31 ページを、
1:22:14	これはあれなんですね
1:22:17	これがあれなのかなあ。
1:22:21	あれか。はいはい。
1:22:28	操作の成立性のところなんですけど、
1:22:34	S Gへの注水開始まで5時間20分以内。
1:22:39	って書いてあって、
1:22:41	大岩110分だから、単純にその右と左であれ、全然時間が違うなって思っただけなんですけど、これが、
1:22:50	これは、
1:22:51	何。
1:22:52	あれでしたっけな、なんでこんな変わってるんでしょうけど、
1:22:57	と北海道電力古谷でございます。
1:22:59	大井さんの設備については衛藤設備名称が書いてるのが1-2-20。
1:23:07	9ページに、
1:23:11	bポツのところに書いてあるのが蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ電動と書いてあるのがこれが設備になってるんですけども、
1:23:22	一応同じ可搬設備、
1:23:27	として、横並びにしたんですけども、
1:23:30	大井さんの設備でいくと
1:23:34	水源が復水ピットということで我々に補助給水ピット、屋内の水源を使う。
1:23:41	もので、我々でいくとそ可搬型のポンプ車を、海野修水源まで持っていきまして準備するという、その単純にその設備が結構大きく違っていて、時間も違うというものでございます。
1:23:55	他条文、他の審査項目として例えば水源とかでいくと、
1:24:02	我々の大型送水ポンプ車と同等の同じようなポンプ車で大井さんも送水車というものを使うんですけども、そういうところは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:14	同等の作業時間になるのかなというふうに思ってますけどすみません ここの、
1:24:18	1.2はその設備がないんで、ここは、設備の違いで、
1:24:23	時間が大きく違うものというふうに理解してます。以上です。
1:24:29	規制庁秋本です。カーリーました。
1:24:34	そうすると、
1:24:43	今のこの大井と同じ。
1:24:48	ように、
1:24:49	復水
1:24:51	1から、
1:24:53	補助給水ピットからやるものっていうのは、
1:24:57	あるんじゃないんでしょうか。
1:25:02	北海道電力古谷でございます。そういう意味ではですね、SGの直接給 水用高圧ポンプが、補助給水ピットを制限して注水します。それは、
1:25:16	1-2の29ページでお示した通り1時間以内ということなので、60分 と、1、100分で110分ですので
1:25:26	同じぐらいかなというふうに、
1:25:28	思います。
1:25:30	以上です。
1:25:38	規制庁秋本です。何となく、だから歩補助給水ピット2、
1:25:47	対する手当が、
1:25:50	何て言ったら、あんまり言い方よくないし、1枚足りないっていう理解 ですか。
1:25:55	そう。そう理解しちゃまずいんですか。
1:25:58	1枚足りないって言い方しちやいけないのかもしれないですけど。
1:26:01	そういうわけでもないですか。
1:26:04	すぐ海水に。
1:26:06	行かなきゃいけないってことですよね。
1:26:09	そうでもない。
1:26:11	当北海道電力古谷でございます。
1:26:16	大井さんの手段でいくと、電動主給水ポンプがあって、
1:26:23	中圧ポンプがあって、2手段とで我々は、
1:26:28	電動主給水ポンプと、SGの直接給水用ポンプ、高圧注入ポンプこれ が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:35	補助給水ピット水源を使うのでまずこれで同等かなというふうに考えて ますはい。
1:26:42	優先順位の考え方がちょっと違うというだけで。はい。
1:26:48	規制庁秋本です理解しました。
1:26:52	それ。
1:26:55	そうずっと、
1:27:00	あれでしたっけすみません、仮設中圧ポンプ、大井の仮設中圧ポンプっ ていうのは自主なんでしたっけ。
1:27:10	北海道電力古家です。その通りです。
1:27:12	わかりました。じゃあ、整合とれてるってことです。やはり、
1:27:18	入って、
1:27:23	少々お待ちください。
1:27:33	参事規制庁秋本です 38 ページですね。
1:27:39	ここで、3、手順着手の判断、一番最初手順着手の判断基準でこれが、
1:27:47	サポート系故障時の対応で、手順着手の判断基準で、
1:27:54	これはあれですよ文言だけなんですけど、3行目のところで、
1:27:58	流量等にて確認できない場合、
1:28:02	ていうのは、
1:28:05	何かあれなんですけど、この女川を見てたら、
1:28:09	単純に注水できない場合って書いてあったから、
1:28:12	PWRは注水できない場合に、
1:28:16	してるのかなあってちょっと思って、思い込んでしまったんですけど。
1:28:21	3行目の確認、流量等で確認できない場合ってというのが、
1:28:28	横並びの観点でもこれでいいっていう感じですか。
1:28:35	北海道電力古屋でございます。
1:28:41	所。
1:28:42	女川さんが原子炉圧力溶液への注水ができないという、
1:28:48	場合というふうに書いているのが、我々で言うと、蒸気発生器への注水 が、
1:28:56	確認できない場合に、のところが
1:28:59	と横並びで、合っているかなというふうに思ってるんですけども。
1:29:04	蒸気発生系の水位を監視する計器、
1:29:09	パラメータをですね、手順着手の判断基準に書き込むというのは、先行 PWRルーのまとめ資料でも記載されておりますのでここは大井さんを見 て、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:23	パラメーターは残しておりますので、
1:29:26	等については、
1:29:30	市野。
1:29:36	規制庁秋本です。同等だ、同等つうか、同じこと言っていますからって いうことですね。
1:29:43	はい。北海道電力古家でございますその認識であります。規制庁秋本で す。どこまで合わせ込みにいくのかで、
1:29:53	ていうところのポイントただただけなので、わかりました。理解はしま したのであとBの操作手順なんですけど、
1:30:03	これ、まず現場手動す括弧ソーサーカッコ現場手動操作って出てくるじ ゃないですか。
1:30:10	だから、何ていうんでしょうその一つの資料の中でも統一が、
1:30:15	されてなくてって、もしかしたらこっちを生かしたいのかなってちょっ と思ったりして別にどっちでもいいんですけど。
1:30:23	統一ができてれば、
1:30:26	統一してくださいってだけです。
1:30:29	北海道電力古谷でございます。了解いたしました適切に申し訳ございま せん修正させていただきます。はい。
1:30:36	規制庁秋本です。
1:30:38	38 ページの⑥番ですかね、引き上げ治具及びジャッキなんですけど、こ れは専用工具ではないんですか。
1:30:53	北海道電力宮でございます。
1:30:57	大井さん等設備も、手順も変わらないんですけども、ここは
1:31:04	少しその当時の我々の
1:31:11	審査いただいているところの時期に伊方さん、
1:31:16	が少し進んでおりましたので伊方さんを参考にして記載した部分なんで すけれども、基本的に設備も手順もやることも何も、
1:31:26	変わりませんので、
1:31:29	記載については少し考えたいと思います。
1:31:32	規制庁秋本です。であれば専用厚遇括弧 00 ってしちゃう。
1:31:39	方が、
1:31:40	すっきりするかなと、別に何か差分がないんだったら、もうあのえいや の世界かなという気もし、しないでもないのでちょっとそこも、
1:31:51	含めて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:52	見ていただければと思いますが、何かさっきみたいに、減少圧力容器じゃないですけど、直さなくていいところまで反映する必要はないので、
1:32:05	同じだったら同じ人行くっていうのも一つ手かなとは思いますが、そこも含めて、もう1回チェックしていただければと思います。
1:32:14	はい。北海道電力古谷でございます。了解いたしました。
1:32:18	規制庁秋本ですそれでの⑨番なんですけど、軌道レバー。
1:32:23	ていうところもうおなじですかもしかして、
1:32:30	はい。北海道電力触れ合いでございます。蒸気加減弁を押し上げて操作するものは変わりませんので、これ、こちらも、
1:32:41	専用工具という言葉、
1:32:44	が適切と、ちょっと考えておりますのでこの辺りも少し見直します。
1:32:51	はい、わかりました。何かあれなんですよ。要は、最新の審査知見に合わせるって言って、
1:33:00	構文だったら、日に合わせて、
1:33:04	Pの最新2でのものに合わせられるんだったらせると、合わせられないものは、理由があって、
1:33:12	合わせられないんですっていうのはちゃんと聞きなすかね話ししていただければ、説明していただければ、
1:33:19	いいと思いますので、そこはゆ何ていうんでしょう。
1:33:23	程度問題っていうわけじゃなくてその何ていうかな、ちゃんと戦略持って、
1:33:28	記載していただければと思います。
1:33:31	はい。
1:33:34	ここはそんなところですよ。
1:33:40	規制庁秋本です。私からは後は、もう1点だけなんですけど、
1:33:47	一応そんな感じですね、結構、
1:33:50	1個1個じゃないですけど、疑義ちょっと。
1:33:55	呼んでおりますので、はい。同じような目線で、
1:34:00	やっていただければいいのかなっていう感じですね。
1:34:06	もうこれもすごい細かい話ですみません、91ページなんですけど、これはすごく、
1:34:12	見づらいんですけど、大丈夫だとは思いますがその何ていうんでしょう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:17	51メートル倉庫遮光の話が、最近中ポツが入るようになったようなので、すごく共有しといていただければと思います。
1:34:35	北海道で値クリアでございます1-2-80。
1:34:39	9ページの51メートル走古作エリアの
1:34:44	記載、
1:34:48	ちょっと提出時期で、上手く反映できませんでした申し訳ございません適切に反映いたします。
1:34:55	以上です。
1:34:57	そう、規制庁アキモトそういった情報って何かあれなんですよ皆さんで共有されているっていう理解でいいですよはい、わかりました。じゃ、大丈夫です。
1:35:07	はい。私からは手順以上なんですけど、いかがでしょうか。
1:35:17	規制庁の方です1.2-7ページをお願いします。
1:35:24	これあんまりコメントとか言うわけでもないんですけど真ん中ドン、ど真ん中のところの高良の段落で、
1:35:32	制御する対対応手段と重大事故等対象設備っていう記載があって、
1:35:40	女川はちょっと及びで書いてるので、
1:35:43	ここは、どんどん好みの問題なんでしょうけど、
1:35:48	ちょっと合わせるのか落ちないのかを検討してください。
1:35:53	はい。衛藤北海道電力でございます。
1:35:56	翁長さんに合わせるのが最新審査実績の反映だと思いますので、このあたり少し
1:36:05	検討して修正したいと思います。以上です。規制庁型技術であと1.2-10ページをお願いします。
1:36:14	冷却系のフィード&VどV充填ポンプを使うときのところの記載で、
1:36:23	結構ここなんか悩ましいなと思ってるんですけど何かうまい先例がなくて、
1:36:29	何か普通は一次系の前のページ見ると、1ポツで一次系のフィードアンドブリードってタイトルがあって、これこれの設備を使えますって書いて設備おらん、羅列してあるっていう形なんですけど。
1:36:41	ここだけ何か1個だけ浮いて入ってきてしかもなんかフィードアンドブリード全体じゃなくてこう注水だけの話、話になってますよね。
1:36:52	これって何か
1:36:53	だと多分加圧器逃がし弁とかを使うんでしょうけどそこら辺の区別ってしないと、どの設備を使うのかわかんなくなって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:04	ちよつとこの辺の記載はちよつと私もどう具体的にどうするのがいいっていうのはないんですけどちよつとここなんかもうちよつと何かわかりやすいように工夫できないかなと思ってるんですけどいかがでしょうか。
1:37:18	北海道で2クリアでございます。
1:37:21	充填ポンプの使い方についてのその操作手順の方も、
1:37:30	少々お待ちください。
1:37:40	藤北海道電力古谷でございます。比較表の1-2の24ページ。
1:37:47	の、
1:37:48	一番下の辺りに、赤文字で書いておりますけども充填ポンプの使い方をここで示しております、
1:37:58	衛藤一次冷却系のフィードアンドブリードという一つの対応手段の中に操作手順を盛り込んで、注水するポンプをここ、使え、高圧中にポンプが使えなかったら充填ポンプを使うというような手順をここで示してございまして、
1:38:14	そこと設備のその拾い上げ方を少し合わせたときに、
1:38:20	1-2の10ページのような形にしたという考え方でございます。
1:38:29	規制庁の真島考え方はちよつとわかりましたけど、何かもし工夫できるのであれば、ちよつと検討してみてください。
1:38:38	北海道電力古家でございます。了解いたしました。少し検討させていただきます。
1:38:44	規制庁から技術で、次へと1.2-27ページをお願いします。
1:38:54	ここ一番下に蒸気発生器のブローダウンラインによる排水を行うという記載があってこれは他のところにもあるんですけど、
1:39:04	何か記載が統一されてるのかなっていうのがちよつと気になって、
1:39:09	ここは淡水海水をって書いてるんですけど、例えば29ページに行くと、
1:39:15	cポツで、今度何かなお書きになってなお海水をここは海水なんですけど、で、次31ページに行くと真ん中辺で今度蒸気発生器へ注水する場合っていう記載になって、
1:39:28	何か水の種別も何もなくなってるなっていうのがあってこの辺は基本はやるんですよね。
1:39:37	はい。北海道電力でございます
1:39:41	はい
1:39:44	すべてに対して記載しますし、実施する時ますので記載の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:51	統一はしたいと思います申し訳ございません。
1:39:55	城戸片桐さん、よろしくお願いします。
1:39:58	あと、1.2-41 ページをお願いします。
1:40:08	これも記載の統一なんですけど一番上のところの非常動逃がし弁はこれ始まるところで一番最後
1:40:15	二次側による炉心冷却を行うって書いてあって、これ他多分発電用原子炉のみたいな書きぶりだったと思うのでちょっと確認してください。
1:40:26	はい。北海道電力古谷でございます炉心冷却では仲間発電用原子炉の冷却で、統一したいというふうに思います。
1:40:37	申し訳ございません以上です。
1:40:38	規制庁片桐さんお願いします。あと、1.2-65 ページをお願いします。
1:40:48	ここの表なんですけどちょっと先ほど話にあったんですけど原子炉圧力容器内ってここら辺の表みんななんか圧力に変えられてるようなので、
1:40:59	ちょっとす。
1:40:59	ここはやはり、元の方がいいと思うちょっと確認をお願いします。
1:41:05	はい。北海道電力古家でございます。
1:41:08	ここの監視項目として、
1:41:13	原子炉圧力容器内の圧力、はい。
1:41:20	1.1558 条とはいえ、
1:41:23	ここのその監視項目というか基準、要求されている言葉を使ってここは
1:41:31	この通り書いたんですけども、
1:41:35	少しその辺りも、
1:41:37	見ながら、横並びも必要と考えますので、
1:41:42	適切な形が
1:41:45	どういう形がいいのかということも含めてですね検討して、
1:41:51	考えたいと思います。
1:41:53	金城から飯島要求の用語を使ってるのであればそれでいいのでちょっとそこはちょっと確認をお願いします。私からは以上です。
1:42:07	規制庁の長江です。
1:42:09	ちょっと比較表ちっちゃいので、そのまとめ資料のカンピのやつのページで、
1:42:15	ちょっとコメントしないんですけど。
1:42:18	1の1ポツ2-60 ページ。
1:42:22	のところ2、
1:42:24	対応手段対応設備手順書一覧。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:28	ていうその全体像がこう入ってるところがあって、
1:42:33	この 60 ページのところフロントラインの
1:42:36	故障時で、それから 1-2 の、
1:42:40	62 の 4 分の 4 がサポート系の故障時で分かれてて、
1:42:46	もう一度 60 ページの方に帰っていただくと、その時にフロント系、フ ロントライン系の故障のときの、
1:42:55	対応手順が 2 列目にあって、その本命の一次冷却系のフィードアンドブ リードによる、
1:43:01	発電所原子炉の冷却ということで、もうここで重大事故対象設備とか、 設計基準拡張が、その一番上のところにこう入って、こいつ、
1:43:12	全然使えますよねっていう話があって、そのあと 2、地主がこういっぱ い来るわけですよ。その例えば、
1:43:20	1、その次のところの充填ポンプであったり、さっき言ったようにそれ はちょっとフィードアンドブリードでもないよねとか、そういう話があ って、
1:43:30	その次に今度は二次系の方の補助給水関係と、二次側の逃がし弁の開放 のところの、
1:43:39	自主対策設備が延々こう続くんですけれども、
1:43:46	この、基本的にはこの枠組みに沿ってこの順番で中身の本店書かれてる んですけれども、どう、どこまでが
1:43:56	自主なのかとか、そういう区分が全然され、されてなくて、ポストか v i v o 使えんにこう続くんで、できればその
1:44:06	何か括弧自主ジシュみたいなのその自習対策設備とか或いはその区切りで もいいんですけど、
1:44:15	とにかく重大事故対処設備と
1:44:19	設計基準拡張を使うものの手順、それと次週、
1:44:25	の手順っていう、そういうものの、その仕分けをきちんと
1:44:30	入れていただくとねちょっと読みやすくなるんじゃないかなとちょっと 私読んでて思いましたのでちょっと。
1:44:37	工夫いただければと思うんですけど。
1:44:40	今、全面的に直せって言うわけじゃなくて
1:44:44	例えばですけど、
1:44:59	このまとめ資料の 1-2 の 14 ページとか見ていただくと、
1:45:10	このローマ数字のちっちゃい 4 とか、
1:45:14	5 とかこれみんなある。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:16	あとその括弧Cの方の、
1:45:18	あんたビバークとかこれみんな
1:45:21	読む人がよくわかるんですけど自習の話ですよ。
1:45:24	その前の1-2の、
1:45:27	12ページとか13ページもこれずっと
1:45:30	地震の話がずっと続いてきてて、
1:45:36	そっちの拡張までの1-2-10とかその11の辺りに書かれてるんだと思うんですけど、ちょっと何て言うんすかね我々の
1:45:47	特に関心があるのはその自主ではなくて、
1:45:50	当然その重大事故対象設備であったり設計基準拡張のその生成だったりする、するんであって、そのあと地震についても皆さんがその生成があるっておっしゃって、
1:46:04	いろいろ書かれてると思うんで、
1:46:08	次週であってこういうこともう考えてますよって書かれているんだと思います。で、一番大事なことはですねもう一度1-2の60ページのところを見ていただいてですね、
1:46:22	その結果
1:46:25	自主対策設備っていうのが、実際その代替の手段として、
1:46:31	何て言うんすかね重大事故対設備並みの一の
1:46:38	能力があってちゃんと代替できるんだっていうその判断がね、どっかまとめられていけばいいんですけど、その何時間以内何時間でしたとか、
1:46:48	何とか容量が足りませんでしたかわからないんですけども、そのまとめがねどっかに、
1:46:55	あった方がいいと思うですよ。それと
1:46:57	この自主対策設備についても当然手順書の中だから優先順位つけられると思うんですよ。その辺のまとめまとめまとめっていうか、この何て言うんすかね
1:47:12	その60ページカラーの表、表に対して
1:47:16	評価結果っていうか皆さんのやられたその手順としての
1:47:22	何ていうかねジシュであればその成立性であったり、あと優先順位であったりっていうのが、何かもう少しその整理された形でまとまっ
1:47:32	てた方がちょっと我々の方もその確認しやすいし皆さんの方も使いやすいんじゃないかと思うんです。ちょっと私、その添付とか全体像の中にどっかにあるよって言われたらそうかもしれないですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:43	やっぱこれはこれでこの資料として、全体の前の方から読んでいくんで、割と読みやすくしていただいた方が、時間の無駄にならないし、
1:47:55	皆さん時、個別具体的に細かいところまで質問する。
1:48:00	手間が省けるということもあるかと思うんで、ちょっと今言ったような
1:48:05	きちんとしたどれについてきちんと述べてるんだとかですね、或いはその結果として
1:48:13	実施として成立性があったり、なかったり或いは優先受優先順位としては、こういうものを当然皆さん手順書の中でそういう優先順位で作られてるんだと思うんで、そういうものも
1:48:26	まとめとしていただいた方が
1:48:29	その何ていうんすかね。この資料自体、せっかく作ったんだけどもその
1:48:34	サマリーがあった方がより、
1:48:36	よく利用できるようになるんじゃないかと思いましたので、そういうことです。
1:48:44	と北海道電力不良でございます。
1:48:48	自主対策設備が使えるば、いう、
1:48:54	有効であるかどうか、そういうのを
1:48:58	自主対策設備にした理由を、女川さんの審査実績、大井さんも含めて、記載してございますので我々もそれに合わせて、自主対策設備としての理由は、
1:49:14	まとめ資料に書き込んでございますし、
1:49:18	優先順位の方についても、す、対応フロー図の方で、優先順位を押し等、
1:49:29	センコーさんと同じようにお示しできているのかなというふうに理解しておりますただ
1:49:35	ご指摘の通り自主対策設備がかなり多くて、衛藤この1-2の60ページの表でですね、真ん中あたりに重大事故等対処設備とか、自主対策設備として記載して分、
1:49:51	枠で分けてはいるけれども、少したくさんあって、見見づらいという、いうふうな、
1:50:02	ご指摘もありましたので、
1:50:04	例えばその重大事故と対象設備だけで一つのページで表を作って、そのあと、自主対策設備の表に少し分けてですね、小分けにしてお示しすると。
1:50:19	少し見やすくなるのかなというふうに考えましたけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:24	いかがでしょうか。
1:50:26	規制庁の仲です。そういうことは一切言ってません。私はその結果について、
1:50:32	その自主対策設備が成立性があるのかどうかってのはわかるようにしていただいた方がこちらの方としては見やすいついていうことと、あとそのどちらかに書かれてるのかもしれないですけど、その
1:50:44	優先順位はどう書かれてるっていうんであればそれはまた教えていただければそれを見ます。
1:50:49	この資料自体として
1:50:53	何ていうんすかね
1:50:55	資料の
1:50:57	んな、なんていうか読み、読みやすさってところの配慮があんまりこうされてないのかなっていう、そういう、ちょっと、
1:51:07	何て言うんすかねここでやっぱ一番最初に整理されたこの1-2-60からのその整理表が基本的には、その最初のその図のフォールティーから北展開であって、
1:51:19	そのあとそれぞれの成立性についていろいろ
1:51:26	レポートの中でこう評価されてるんで、その
1:51:30	あとは何ていうか、この中で、そのサマリーをきちんとかう作っていただいた方が我々の方は見やすいというそ、そういうことなんで、皆さんおっしゃるように
1:51:41	どっかに書いてあるっていうんであればそれまた
1:51:44	個別に教えていただければちょっと私は全体理解、読んでないんで理解してないんですけど、
1:51:52	ただ、ちょっと我々の方はそれをいちいち確認したり、何とかしたりするのに、多少は時間が我々の方は要するということを言ってるんです。
1:52:29	規制庁長屋さん
1:52:30	ちょっと私はそれあった方がいいなと私が思っただけであって皆さんが情報があるとおっしゃるんであれば、
1:52:36	私の方は、特に追加でつくれとは申しません。
1:52:42	ただなんですね、新しく作られたり何か、皆さんが
1:52:47	説明されるときに、きちんと説明できたり、なんて持ち越したりすることがないようにその場できちんとした回答していただいたり、
1:52:57	なんていうか我々の質問に答えていただけるようにしていただきたいとしますので、その点は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:07	当北海道電力古谷でございます。ご指摘に対してきちんと回答できるように、いう姿勢は、当然そういうのを
1:53:19	答えられるように対応して準備して参りたいと思います。それから
1:53:27	少しまとめ資料のつくりでいきますと、例えばまとめ資料でいくと、1-2の42ページ。
1:53:39	2、
1:53:42	はい。真ん中辺りに(4)番ということで、
1:53:46	あと重大事故等時の対応手段の選択という項目がありましてここに、その優先順位を含めた
1:53:56	選定した手段の使い方を書いてございます。
1:54:02	(4)番のところの1段落目に、フローチャート第1-2-15図に示すということで、この文章だけのものを
1:54:15	図にしまして、対応手順のフロー、それから選択のフローチャートを、のそこにお示ししてございます。
1:54:27	規制庁の長井です呼んでますので、
1:54:30	ちょっと具体的にもう一つ、
1:54:33	技術的な質問をちょっとしたいんですけども、
1:54:38	ちょっとまとめ資料の方がいいので1-2の31ページのところをちょっと開いていただいて、
1:54:46	1-2-30の下の方の2行から続くんですけど、蒸気発生器水位の高いきいワイドレンジの方の、
1:54:56	ことがいろいろ書かれてて、これって
1:55:00	なんていうか、定検前に
1:55:03	定検する時に、SGの水
1:55:07	の状況を確認スルーやつで書かれてるのは
1:55:13	今の事故状態のような高温状態において
1:55:17	蒸気発生器の
1:55:19	推移を正しく測れるものではないっていうこと。
1:55:25	だと思っんですけども、これをそのままの
1:55:30	何ていうんすかね、温度低音どうのと聞いの。
1:55:34	条件でその水を、
1:55:37	見てるってことだと思っんですけど、それ、それってというのは
1:55:42	今もうその状況は同じなんでしょうかどうでしょうか。それちょっとまず、
1:55:48	答えていただけますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:50	はい。北海道電力古谷でございます。
1:55:53	蒸気発生器の水位の広域については現状も
1:56:00	定期事業者検査で、プラントが止まっているときに水構成をいたしますので常温、
1:56:07	常圧での構成となりまして、事故時の時には計器、構成の交差がありますので、この辺りの
1:56:20	手順着手として、完全なドライアウトではなく、その広域水位の10%、
1:56:28	の投資G、
1:56:31	CKで10%未満になればフィードアンドブリードを開始するという手順になっておりまして、
1:56:38	その計器校正の誤差も含めた含めて成立するように手順は作っております。この辺りの説明資料は、1-2-31ページの右下に書いてございませす通り、
1:56:53	添付資料の1-2-5というものにまとめてございます。こちらについては、あと8月31日に提出して、させていただいた資料から変更はございませんので、
1:57:08	今回、ヒアリングに、んなのをつけて、
1:57:11	すいません。それは大変申し訳ございません。1-2-5で、また、
1:57:19	提出させていただいたときに、
1:57:21	説明させていただきたいなというふうに思います。以上です。規制庁永江ですこれ自体の、何ていうんすかね広域の水系のSGの水系の広域の扱っているのは、
1:57:33	先行PWRも皆さんと同じ扱いをされてるってことでしょうか、手順書と。
1:57:39	北海道電力李でございますこの手順と、その構成の仕方も含めてですね、全PWR、すべて同じでございます。
1:57:47	規制庁の長江です。わかりました。ちょっとまた時間がある時に、ちょっと説明を詳しくしていただければと思います。
1:57:55	私の方から以上です。
1:57:57	規制庁秋本ですちなみに今の添付資料、変わりがないって言ってたんですけど、変わりがないんだったらなぜ今回つけないですか。
1:58:09	あと北海道電力古家でございます添付資料は、でき上がってるんですけども
1:58:17	比較表の形にして差異理由をつけてお示しするのに時間を使っております申し訳ございません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:30	規制庁秋本ですそうすると事務的な話だと、またここの部分だけのヒアリングをやるっていうことでいいですか。
1:58:39	ということですね、E. には、はい。
1:58:42	わかりました。
1:58:45	まとめ資料はいかがでしょうか。
1:58:51	そしたら後はあれですね移転には、移転にも、パフォーは作るんですか。
1:59:01	北海道電力の藤田です。パワーポイントは、対応用資料として作る予定でおります。はい。
1:59:08	2回目のヒアリングの時に、何とかお示しできればなというふうに思っています。
1:59:20	回目は、今のところ受
1:59:24	これ1回目だったんです。
1:59:26	はい。
1:59:27	1.2 ってまだ、ご説明してませんので、
1:59:31	はい。
1:59:32	前回ですね 1.111. 2 って、お持ちして 10 月ですね、1.11 だけ、
1:59:38	ご説明して資料だけ積んではいたんですけれども、はい。
1:59:58	申し訳ございません。ちょっと厳しい状況ですんで、比較表が間に合わないんですんで、
2:00:04	資料、まとめ資料として出せるものはあるんですけれども、ちょっと意識そろえて出すというのはなかなか厳しい状況です。
2:00:15	規制庁秋本です。2 回目っていつごろって 1 知られてます。12 月の、そんな中、はい。
2:00:22	12 月の 20 日。
2:00:24	はい。
2:00:31	今回いろいろとコメントをいただいて、2 回目もいろいろいただきと思いますんでそれを踏まえてすべてに展開したいなという思いもあります、
2:00:52	規制庁秋本です。わかりました。それではとりあえず、まとめ資料についての質問コメントは以上でよろしいでしょうか。1.2 ですね。
2:01:04	はい。じゃあ、ちょっと時間も 2 時間ぐらいだったので、一旦 10 分休憩をさせていただければと思いますそのあと 45 条、やりたいと思います。じゃあ、次 45 分ですね。
2:01:19	にお集まりいただければと思います。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:22	お疲れ様です。
2:01:30	規制庁アキモトですそれでは続いて 45 条の設備側です。じゃ、北海道電力からご説明お願いいたします。
2:01:41	はい。北海道電力田口です。
2:01:44	45 条のご説明ですが、
2:01:48	手順側と同じように、
2:01:49	比較表の一番最後のところに考え方をまとめた紙がついておりますのでそこで概要をご説明しますけれども、
2:01:57	比較対象プラント選定の詳細については基本的には申せ手順側と同じ考え方です。
2:02:03	それで、説明は省略いたします。
2:02:07	次の
2:02:10	添付資料等を作って比較表をどこまで作るかという、作成状況の整理表ですけれども基本的にはすべてまとめ資料は同じように作って、比較表を作るというスタンス。
2:02:21	です。その中で一部作らないものがあったりとかしますけれどもそれはもう設備的に全く該当がしないものですか、
2:02:29	あとは比較対象としようとしているのが細かなところの補足説明資料と書いている類のものは、設備の詳細を書いているものですから、大井との比較を今考えております。で、大井で作っていない資料を、
2:02:42	との比較はできないので比較表を作らないというような形で、バツがついてるものが幾つかございます。それ以外はすべてつくるという考えです。
2:02:51	その考え方をまとめたのが、44 条から 58 条の、
2:02:56	比較表作成範囲という紙ですので、これの説明は省略いたします。
2:03:03	今回の比較表の、
2:03:07	修正ポイントになりますけれども、
2:03:13	最初のところの取りまとめた資料の 5 ページ。
2:03:20	5 ページですね、あの文章が書いているところのページです。2-4 として新たに追記しておりますけれども今回女川との比較をしていくにあたっての考え方をここに書いております。
2:03:32	まずこの 3 例比較表というのは基準適合を類似する PWR のプラントの大飯 34 と比べたものをまず作りましたと。
2:03:40	その上で、
2:03:43	女川と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:45	相違する箇所を見ていくような形で、二段階で作った形になっていきます。二つ並べて一緒に作ったものではないという、
2:03:54	ことがまず1点です。
2:03:56	結果としては2回合わせ込みをしていくと最終的に女川と合わせ込むと、結局最後は大分違ってしまいますのでそこでまたいろんなそういうすると最初設備的なそういう紙表していた赤とか、
2:04:08	いう識別してるものもみんな青に変わってしまうので、そういう識別はしないということにしています。
2:04:14	ですので、赤の識別残っているものは、大井と比較して、基本的に設備とか設計方針が違うようなもの。
2:04:22	表すような形にしています。一部多分ないと思いますけども、女川ともそういうものがあれば赤にすると。それ以外については書きぶり、構成の違いですので基本的には女川との相違、青という形になると考えて、
2:04:35	おります。
2:04:37	次につくり方の考え方ですけれども、
2:04:41	今お話している通り45条設備側の話になってきますのでもう、の方からやっている手順から全く違うということで、
2:04:50	この例としては45の、
2:04:52	2ページ。
2:04:53	ですけれども女川の手順だけを書いてあって、泊の手順が書いていない、手じゃない設備の設計方針を書いてないところがあります。
2:05:01	こういうところには泊欄のところに書いてある通り規制方針の説明ということで、
2:05:06	こういう理由なのでこの
2:05:09	設備の記載についての比較を行わずに類似するものを用いて我々の手順を比較しますと、
2:05:15	というようなところを記載しております。
2:05:17	次の45-3ページに行くとその結果何を持ってきたかというこれは45条の比較表なんですけれども、類似するものは47条にあったので、女川の47条、
2:05:28	の設備記載の部分を持ってきて、比較をしておりますと。
2:05:33	いう作りをしております。
2:05:36	それがずっと続きまして、大きく修正箇所をいじったようなところとする等、環境条件、
2:05:47	のページで45-18ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:54	とかさっと見ていただくともうほとんど黄色になっている。
2:05:58	ようなページもあるんですけども、ここについてはそういう理由のところに書いているんですけども、大分それでそこも黄色マーカーしています。
2:06:06	もともと、
2:06:08	束ね方が違っていたので、書き順が全部変わって、文章が全部変わってしまいましたということで今回黄色にしていますけれどももともと書いてなかったわけではなくて、
2:06:18	元の文章と比べていただいたら大きく変わっていますと。
2:06:21	いう意図です。ですので、記載漏れとか、多少あったかもしれないですけども、基本的には全部書いていたと、いうふうに思っております。
2:06:31	同じようなものが、
2:06:33	試験検査の
2:06:35	ところ 45-22 ページもう、
2:06:38	ほとんど黄色。
2:06:43	です。23 ページまで続きますけどもそちらもほとんど黄色ということですからけどもこれも手順ごとに、
2:06:49	構成する設備の試験検査の内容を書き分けていったので同様に全部黄色になっているといったものが発生しております。
2:06:58	最後、設計基準拡張の考え方を取り込んで今回作り込みを進めております。
2:07:05	既許可にきちんと施設の区分ごとにどういう、今回の S A を取り込んだ時に変更が起こるのかということ、
2:07:15	まとめ資料の段階から作るということで、
2:07:17	設計基準拡張の扱いは、この比較表でいくと 45-38 ページから、女川の設計基準拡張とするものの記載があります。
2:07:28	我々取り込んでいったのは似たような女川、
2:07:31	等の設備構成になっている 41 ページからの原子炉隔離時冷却系に対して我々二次系冷却を使いますと、
2:07:38	いうことで、
2:07:40	ここの部分が 5-11 の二次冷却設備に、
2:07:44	結局番号低かったこれから出す補正申請の番号でいくとここの章に組み込むべき記載はこういう、
2:07:51	の通りになりますと。
2:07:52	いう形でまとめております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:57	説明以上です。
2:08:02	規制庁秋本です。それでは質問コメントに入りたいと思います。
2:08:07	私の方からですね比較表の
2:08:14	あ、すみません、取りまとめた資料の、
2:08:18	4 ページです。
2:08:22	4 ページ、大井との差分で説明していただいているところで、
2:08:30	ちょっとよくわからなかったのが、この p i t っていうのが、
2:08:41	将来の炉心運用に柔軟性を持たせるから持たせるため、
2:08:46	設置してますよう、っていうことなんですけど、これも、この
2:08:52	日をホウ酸注入タンクも、
2:08:55	一応なんていうんでしょう基準適合っていうか、クレジットというか、 何ていうんでしょう。
2:09:03	申請範囲っていう、
2:09:07	理解。
2:09:08	にするっていうことを、
2:09:10	なんですよ。
2:09:12	はい。北海道独自。その通りです。
2:09:16	ここで説明している内容は、なんで、大いになくて、
2:09:21	泊にあるんだと。
2:09:23	いうことに対して説明してるものであって、ついている以上、申請対象 です。はい。
2:09:29	規制庁秋本ですこれはあれですかこのやり方。
2:09:34	やり方自体っていうか
2:09:38	b i t を設置しているのは、これは泊だけなんですか。どっか先行サイ トであったりしますか。
2:09:47	はい。北海道田口です。説明の中で、
2:09:50	割と新しいプラントの名前ばかりがついているんですけども、古いプ ラントは大体ついてます。
2:09:56	はい。
2:09:57	解析等の精度が上がってきたので新しいプラントでは、
2:10:01	ビットがなくても成立するというふうになったんですけども、うちは将 来を見据えて、
2:10:06	高濃度ホウ酸注入できるようにつけてあるという
2:10:09	のが、
2:10:10	菅田です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:13	規制庁秋本です。あれですかねこの将来の炉心運用の柔軟性っていうのは、
2:10:19	何かなんていう具体的に何か考えられてることがあるんでしょうか。
2:10:26	確かMOXだったと思います。
2:10:33	燃焼度燃料、すいませんちょっとその辺、という問題。
2:10:37	とにかく今よりも、
2:10:39	3価値が必要になった時に対応できるようにあらかじめつけているという、
2:10:49	規制庁秋本です。わかりました。泊独自の話ではないっていう古藤でしたら、
2:10:58	何かあれなんですよね。ミスリードをしないように、
2:11:02	したいだけなんですけど、
2:11:06	なんか、
2:11:07	別に、
2:11:09	それこそ古いのはついてますけどねっていうのがわかるようになってると。
2:11:15	助かるんですけど。
2:11:17	はい。では
2:11:19	全体Pを眺めてついてるプラントも加筆して、
2:11:22	それが、
2:11:23	私、おかしいところ、泊が得意でないということがわかるように記載いたします。
2:11:29	規制庁アキモトですわかりました。
2:11:32	ええ。
2:11:34	その下の最樹香さんと取水ラインの構成ワー
2:11:41	ええ。
2:11:42	これもう、
2:11:45	何なんすかね、同様なところももちろんあるっていう理解でいいですかね。
2:11:52	えーとですね、これは
2:11:55	世代ごとによってこの再循環ラインの設計って相当変遷してまして、ここに書いてあるも実は一部のような感じなんです細かいところ行ったらもっと変わっているというところなんですけど、
2:12:08	泊の3号機だけサクシヨンの供給するポンプの組み合わせですね、普通はECCSのRHRと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:18	高圧中のS I、それがおんなじサクシオンで通る。
2:12:22	ですよ。
2:12:23	それと格納容器スプレイする方のやつがもう1本違うサクシオンがついているというような構成が、
2:12:29	標準的な考えです。
2:12:31	その中で、泊は、
2:12:34	高圧注入ポンプのサクシオン等、格納容器スプレイのサクシオンを同じにしてRHRをもう1本という形の設計に変えています。
2:12:44	この設計思想っていうのは、
2:12:46	RHRの方には冷却器がついてます格納容器スプレイにも冷却器がついてます。
2:12:51	で、それぞれに冷却器を備えたサクシオウにまず知っておくと。
2:12:55	で高圧注入ポンププーで再循環をかけると最終的には格納容器に熱が遷移していく。
2:13:01	それを下功刀スプレイで除熱ができる。
2:13:05	再循環冷却がきちんとできるっていうことをECCSのR値Rがなくても、
2:13:10	炉心の熱を格納容器に移して成立するといった考え方で、サクシオンの構成が変わっています。
2:13:17	この構成は、泊の3号だけです。
2:13:26	規制庁秋本です。だけど別にあれですよ。泊だけってなったとしても、
2:13:33	そんな2、
2:13:35	なんていうんでしょう。だから何か論点ありますかって言ったら、ないような気がするんですけど、そういうこと。
2:13:43	でもなく何かあれなんですけど、
2:13:45	特出ししておきたい話があったりするんでしょうか。
2:13:49	北海道、田口です。今お話している45条の辺りでは特段あまり話にはなりません。
2:13:57	この再循環のやつ最終的に加来小貫さん中間までずっとついてまわる。
2:14:02	ところですので共通的に同じような説明を今つけてます。
2:14:05	先ほど言ったように格納容器スプレイとS Iの再循環で炉心の保護ができるというのが最大のメリットです。
2:14:15	規制庁アキモトですわかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:26	規制庁アキモトでそうしましたら比較表を行っていただいて 45-1 ページです。
2:14:33	これも期さですが、また
2:14:39	及びの使い方になっちゃうと、
2:14:44	んですけど、2%ごめんなさい、またから始まるところです真ん中のところで、
2:14:50	タービン動補助給水ポンプ及び電動教授業水ポンプ店。
2:14:57	補助給水ピット並びに、
2:15:00	ということだから、及びの位置って、何か気を使われたりしています。
2:15:09	北海道田口です。衛藤。
2:15:11	全部並列に並べて、野良日の1のところが及びでもいいかなとも考えたんですけども、Cをするポンプがまずタイプタービン動と伝統があるということで、及びを使ってそれ以外並列に並べていった結果及び、
2:15:25	使い方ができないので並びがついているという、
2:15:28	規制庁アキモトツアーわかりましたすみません度、補助給水ポンプで一つの固まりを持っているっていう理解ですね。わかりました。
2:15:38	それで、
2:15:43	と。
2:15:49	相違理由の
2:15:52	何ていうんでしょう、2個目ぐらいに多くなって書いてあって記載方針の相違で、すべて常設設備であるため、設置のみとしたっていうことなんですけど。
2:16:03	これは、
2:16:06	あれなんですかね。大岩タンクローリーがあるから、
2:16:10	ということですか。
2:16:16	北海道田口です。もともと藤家もですね今回書き方を女川に合わせ込んでいった結果、タンクローリーというイメージ的なものはなくなったんですけども、
2:16:29	代替電源を使う時には、どうしても油供給が伴うので我々も同じ状態でした。ただそちらの方の設備の整理は、電源のほうの57条で整理をするという形にしていますので、
2:16:39	あくまで45条で話す設備に関しては設置するものしかない。
2:16:43	いう整理です。
2:16:45	規制庁アキモトですわかりました。そしたら、続いて45-3 ページです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:52	3 ページは、
2:16:56	んとですね、日本語は、
2:16:59	ちょっと読めなかった。
2:17:01	たところがあって、
2:17:03	すいません、26 行目で、
2:17:09	ここまで高圧注入ポンプにより、燃料取替用水ピットの水を高圧注入系により、
2:17:19	原子炉容器へ。
2:17:21	ほ云々って書いてあって、
2:17:24	後は注入ポンプにより、燃料取替用水、
2:17:28	ピットの水を高圧注入系により、
2:17:33	江田によりは続いているなあと思っただけなんですけど。
2:17:38	これは何かあれなんすかね何か。
2:17:40	もうちょっとスマートに、
2:17:44	書けないものなんでしょうか。
2:17:47	はい。北海道田口です。によりが続いていますので、意図としては、
2:17:54	どこか一つ、その横並びのところに一つ下のところに、
2:17:59	女川の表現でいくと経由してと書いていたんですけども、
2:18:04	うちは単独の系統しか使わないので経由しておかしいだろうということによりという表現を使ったんですけども確かに日本語として読みづらいので、ここの部分はによりが重ならないような、
2:18:15	単独系統で送っているのがわかるようなつなぎ方に変えたいと思います。
2:18:21	規制庁秋本です。わかりました適正化はしていただければと思います。
2:18:28	等これもす、あれですね発電用原子炉の話は多分一緒なんですけど、
2:18:34	どうすんのかなとは思いますが、
2:18:38	何かあれなんですけど、ここに出てくる原子炉っていうのは全部発電用原子炉になるんですか。
2:18:46	今言ってるのは新居石井牛田から 5 行目ぐらいに発言しろって出てくるのは、
2:18:53	発電用原子炉になるん。
2:18:56	ですか。
2:19:01	はい。北海道田口です。
2:19:09	発電用原子炉ですね。はい、抜けてましたすいません。そうですか。わかりました

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:16	はい。
2:19:17	何だろう、いいか。
2:19:19	原子炉とか読みかえる人もいるのかなとか思ったんですけどちょっとその何ですかね横並びは。
2:19:27	しっかり見ていただければと思いますと。
2:19:35	まで同じことですねまたその次のところも高圧注入ポンプにより下格納容器再循環ポンプの水を再循環により、
2:19:46	てなってるので、
2:19:51	理解しようと思えば理解できなくもないかもしれないですけど、ちょっとスマートにかけていただければと思いますというところと、
2:19:59	あとは講話差異理由の一番最後のところなんですけど、
2:20:04	みかたわ、サンプサンプスクリーンは含めて以内なんですけど、
2:20:11	これわあ、
2:20:14	なんかどういう、
2:20:15	伊藤。
2:20:17	なんででしょうけど、その
2:20:19	伊方と同様、正しい言い方を含めていないっていうのは、
2:20:24	ちょっとよくわからなかっただけなんですけど、北海道田口です。
2:20:29	一次系のフィードアンドブリードの範囲をどこまで記載するか。
2:20:34	設備側の方ですね、というのは何か各社結構個性がありまして、
2:20:40	一番短いパターンが一次系のフィードアンドブリードをやって、
2:20:44	終わりっていう、関西みたいなパターンなんですよ。
2:20:48	ただ一次系のフィードアンドブリードで冷却した後に、定常状態に持っていくために、
2:20:54	蒸気発生器の冷却化、
2:20:57	RHRの余熱除去運転につないでいくんです。
2:21:01	そののがもしできなかつたら、
2:21:05	高圧再循環を続けて、加圧器逃しからPROかけて一次系のフィードアンドブリードを再循環で続けるというところまで手順がある。
2:21:13	ですよ。
2:21:14	そこのうちのどこまでを変えていくかというのでうちはフルに書いているパターン。
2:21:19	それ関西は最も書いてないパターンで、言い方の場合は余熱除去までは書いたっていう。
2:21:26	という、書き分けが出ているんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:30	ちょっとわかりづらいですかね。
2:21:34	規制庁アキモトです
2:21:36	わかりました。基本的にはだから記載だけの話っていう理解でいいですかね。
2:21:45	その理解でよろしいですか。
2:21:48	規制庁アキモトですわかりました。
2:21:52	続いては、45-5 ページです。
2:22:00	傾動
2:22:06	45-5 ページわあ、あれですね
2:22:11	ここは何でかい。
2:22:12	黄色になってたので、所 (イ)、
2:22:16	1、
2:22:17	ですかね、(2) の、
2:22:20	ローマの一井で蒸気発生器二次側からからの除熱に、
2:22:26	しているのは、これは、
2:22:29	何か手順と合わせたとか、そういうことなんですか。
2:22:34	はい、北海道、田口です。
2:22:37	ここの部分まだ手順側とは、実はすり合わせがきちんとできてない。
2:22:42	部分で、
2:22:43	手順側の方では蒸気発生器二次側、
2:22:46	による、
2:22:48	発電用原子炉の冷却と書いているんですけども、そのときに、何だろうな。
2:22:55	女川とかで言ったときには、による発電用原子炉の冷却というのは、何を使ったときのっていうこと。
2:23:03	の、
2:23:05	言葉なんですけど、うちが蒸気発生器二次側による炉心冷却という言葉を使っていくと、じゃあその手段名はっていうと蒸気発生器二次側になってしまうだろうと。
2:23:15	それだと余りにも昨日説明が足りないので、
2:23:19	蒸気発生器 2 時からの除熱という機能を使って発電用原子炉を冷却するというふうにした方が、この体のところがによるになると、先ほど話出てる通りによるによる、
2:23:31	というタイトルになってしまったので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:33	ちょっと設備で考えるのが適正かわかんないんですけど、こういう表現にしていこうかなというふうに今考えているところです。
2:23:43	規制庁秋本です。わかりました。そしたらあとは記載だけなんで、
2:23:50	了解です。
2:23:56	へえ。
2:23:58	そうっすね。
2:24:03	これはあれですねすみません
2:24:05	さというか、その場の横に書いてある層位理由なんですけど、
2:24:12	これわあ、
2:24:14	定例とMDで、
2:24:16	別手段として書きましたよってということなんですけど。
2:24:21	これは何か理由があるんですけど。
2:24:27	はい。北海道田口です。
2:24:29	江藤基生
2:24:31	合意の記載のようなものが、最初に生まれた、なんですかね。
2:24:36	説明の書き方だったと思っています。ただその後、審査が続いていくに従って言い方で書き分けてみたりとかいうのが出てきて、
2:24:45	そもそも、
2:24:47	基準の適合性の考え方までいくと、
2:24:51	タービン動を使うってということと、電動を使うってことは実はちょっと違って、どちらも復旧の手段で技術的能力の審査基準の適合、
2:25:01	のための手段合致するんですけども、
2:25:04	タービン等を手動で動かす方は、
2:25:08	許可基準の方にも、
2:25:10	適合しなければいけない手段になると。
2:25:12	それを、
2:25:13	ちゃんと考えていっていきのと、あと手順側の方ではもともと一緒くたにしているものではないので、
2:25:20	許可申請としてもきちんと分けて記載すべきというのが今の考えで分けています。
2:25:29	規制庁秋元です。わかりました。そうしたら、ちゃんと理由があるんでしょうから、あれなんですけど、これ、差異理由の欄を、
2:25:38	に書いといてもらう等、その通りだですねって思えると思うので、この理由のところを、
2:25:47	しっかりと誰ですけど書いといてもらえたらと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:56	井戸田口です。どうしてというところがわかるように、追記します。
2:26:03	ふうん。
2:26:10	規制庁アキモトで
2:26:12	4、5 ページのその下のところのパラは、
2:26:17	2、5 行、すいません、2、5 行目ですね。
2:26:23	軌道市場聞いた弁駆動ポンプにより、
2:26:29	補助給水ピットの水を、
2:26:33	ていうところなんですけど。
2:26:37	蒸気タービン駆動フォーム
2:26:41	蒸気タービン駆動ポンプっていうのが、
2:26:45	大井大井にあるのかなあと見てたら、
2:26:51	特段ないんですけどこれ、蒸気タービン駆動本部って入れてんのは何か。
2:26:58	理由があるんでしょうけど。はい。北海道田口です。今回女川との比較を行って、
2:27:04	たときに、女川のグレードのところの横並びに蒸気タービン駆動ポンプって書いてありました。こいつの正式名称はこんな名前ではなくて、
2:27:14	蒸気駆動で動くポンプですよということを中では明示したんだと理解しました。
2:27:19	ですので我々はもともとここをタービン動補助給水ポンプと書いてますけれども、それが蒸気タービン駆動ポンプですよっていう表現がわかるように反映したものです。
2:27:32	規制庁脇本です。だったとしたらあれじゃないですか。タービン動タービン動補助給水ポンプのことを言っているってことですか。
2:27:42	田口です。はい。
2:27:50	泊の場合だとタービン動補助給水ポンプという名前がついているので、
2:27:55	言わずもがなかなと思ったんですけども、あえて女川の方で、これが蒸気タービン駆動のポンプだよということを明示かけていたので、
2:28:03	反映しました。
2:28:05	ごめんなさい、規制庁アキモトあ、わかりました。これ、だから主語が、タービン動補助給水ポンプはのくだりだから、当然そこで使われている蒸気タービン駆動ポンプっていうのは、タービン動補助給水ポンプですよって。
2:28:20	なるほどはかりました。
2:28:27	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:33	金。
2:28:35	それじゃあすいませんそのちょっと下なんすけど主蒸気逃し弁を人力で開操作するなんですけど、ここは専用工具っていう、
2:28:46	いらないうっていう理解でいいんですか。
2:28:49	井戸田口ですハンドルがついていてそれを回すだけですので、特に入りませんで操作性のところで、
2:28:55	この操作をするためにちょっと高い位置にあるので踏み台を設けると言うことは書いてあります。
2:29:02	規制庁アキモトですわかりました。
2:29:04	はい。
2:29:10	45-6 ページです。
2:29:14	6 ページは、
2:29:17	ちょっと最初読んでて混乱はしかけたんですけど、あれですねこれは
2:29:23	後々ちょっと、もう1回読み直してみたら、並びにで、
2:29:27	話が切れてて、
2:29:30	配管及び弁にそこで繋がるようにしている。
2:29:35	ということでもいいですかね最初何か、
2:29:39	思ったのが入口弁。
2:29:42	藤。
2:29:43	何か、また弁って思っただけなんすけど並びにで1回切れてっていうこ日本語だっていうことでもいいですかね。
2:29:51	はい。ご理解の通りです。
2:29:56	規制庁アキモトですわかりました。45-7 ページは、
2:30:02	上のところですけど電動補助給水ポンプは、
2:30:07	可搬の電源車は繋がらない。
2:30:10	つながないっていうか、容量が足りないのかわかんないんですけど、可搬はないっていう理解でいいですかね。
2:30:19	北海道田口です。容量的には多分賅えるかとは思ってますけれども、
2:30:26	可搬型のやつは、
2:30:27	うちの場合、電源の方の使い、
2:30:30	方として、最低限の負荷供給っていう使い方に実はしています。その中には電動補助給水ポンプは含まれません。
2:30:43	規制庁沖本です。わかりました。
2:30:50	あとは、
2:30:58	少々お待ちください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:09	規制庁、秋本です。
2:31:12	20、45分のごめんなさい、10ページですね、45-10ページ。
2:31:20	一次冷却設備については、一次冷却設備に記載するって書いてあるところで、ちょっとまだ私も中身を、
2:31:30	向こうその後の位置を、
2:31:32	ちゃんと見ていないからだけなのかもしれないですけど、その下の二次冷却設備は、
2:31:39	NOちいな2って書いてあって、ちょっとこれは確認ですけど一次冷却設備は別にその、
2:31:48	限定というか、
2:31:50	農地とか、そういう話はないっていうことでいいんですか。
2:31:55	北海道田口です。ないということがまず回答です。もともとは二次冷却設備の方も二次冷却設備についてはという簡単な結果としたいのが本音のところなんですけど、
2:32:06	二次冷却設備許可で記載してる範囲が非常に広くて、
2:32:10	そのうちの使う部分をきちんと書き出さないと関係ないところまで含まれるのでこちらが書いていると。一方一次冷却設備については、RCSのバウンダリーをそのまま流路として使うのですべて含むということで何も書かないということです。
2:32:26	規制庁の木本ですわかりました。
2:32:34	12ページですと、
2:32:43	12ページは、
2:32:57	ふうん。
2:33:00	これ、
2:33:03	これなんかなんすかねすいません3、下から3行目の宇井植野パラで下から3行目で余熱除去ポンプは一次冷却設備を水源とすることっていうことなんですけど、
2:33:18	これは、
2:33:20	そう。
2:33:21	いいのか。
2:33:23	最初なんか、余熱除去ポンプも再循環サンプ繋がって、
2:33:29	飛んで残ったときのところ、人も、
2:33:32	なんですけど、だけど、別にあれなんですってね一次冷却設備を水源と。
2:33:36	することもできるからとかそういうことですかね。
2:33:41	北海道田口です。今お話いただいたので、ほぼ正解なんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:46	RHR余熱除去設備っていうのは、基本的に我々低圧注入と低圧再循環の機能を兼ねた余熱除去設備です。この一次系のフィードアンドブリードで使うのは、
2:33:57	低圧注入再循環としての使い方ではなく、余熱除去設備として使います。その時にはRCSのループから取るので一次冷却設備を水源とするという表現にしています。
2:34:08	規制庁アキモトですわかりました。続いて13ページです。
2:34:14	13ページは、3行目のところは、
2:34:22	非常用直流電源設備、
2:34:25	ですけど、これはあれなんすか。
2:34:29	非常用直流電源設備で、
2:34:32	やっているっていう理解でいいですか
2:34:35	尾野伊賀。
2:34:37	常設直流電源って書いてあったんで、ですけど、
2:34:43	いいのか、DBのっていうことですか。北海道田淵宗です。設計基準としての呼び名を、
2:34:50	今回からこういう名前で統一しようということで今、
2:34:53	合わせ込みに行ってます。
2:35:01	規制庁脇本です。わかりました。
2:35:06	そうそう。
2:35:08	それで、ちょっとこの日本語を読んでです。よくわからなかったのが非常用、ごめんなさい、専用工具を用いて時空経営の給与、
2:35:19	9、
2:35:20	あと、
2:35:21	給与することで、
2:35:24	非常用直流電源設備からの急流9、給電による給油って書いてあって、
2:35:31	給電による給油って、
2:35:34	これは、
2:35:37	どういうことなのでしょう。それは全然力、非常用直流電源設備からの給電による給油って何かあれですか。
2:35:45	北海道原口です。あの子ジャバラポンプと非常用の油ポンプがついていてそれが直流から電源をもらって常時油系を生かしているという設計です。
2:35:56	それが今、
2:35:57	電源が喪失していますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:00	その代わりに専用工具を用いて時空系の給与するという手段をとる。
2:36:06	ということ表現してるんですけども、9電による給油。
2:36:13	要は直流で銀のポンプを使った給油等、
2:36:18	それが無い時の、
2:36:20	専用工具での給油ということ表現したいです。
2:36:44	はい。北海道でもJISいろいろとわかりづらいという意見いただきましたけど、
2:36:50	はい。
2:36:52	ポンプ名を記載するのか、片方が人力でやることで片方が電源を使ってやるのかというようなことを明確にわかるように、ちょっと書き方を工夫したいと思います。
2:37:07	で、油を、
2:37:10	はい。
2:37:12	そうですね。結局は圧送するポンプとかを使うのか、その代わりに何か工具を使うのかということですのでその趣旨がわかるように、
2:37:24	はい。
2:37:29	はい、わかりました。じゃあ、
2:37:33	規制庁アキモトです。そしたら、
2:37:51	規制庁アキモトです15ページです。
2:37:55	15ページは、
2:37:58	ちょっとこれは比較表の作りっただけなんですけど、
2:38:04	もし可能だったらなんですけど、そういう理由のところ、2個目の赤で伊方と同じって書いてあるじゃないですか。
2:38:13	その伊方と同じっていうのが、
2:38:18	もしかしたらその名もしかしたら図が
2:38:22	何て言うんでしょう、その抜粋してここ記載しておいてもらうと、すぐ見れたりするので、
2:38:29	何ていうんでしょう。
2:38:32	どこかに、
2:38:34	抜粋だやつっていうのわかるようにして示してもらうっていうことはできますか。
2:38:40	はい。北海道、田口です今回の45条の中での抜粋で示している箇所は、確か言い方を
2:38:47	あったと思います。ですので同じように表現することは、
2:38:50	可能。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:52	です。ただですね
2:38:54	伊方藤泊のこの設計基準事故対処設備と同じように使うという言い方と、
2:39:04	大井が言っている弁操作等によってってという言い方ってというのは実はや ってることは一緒なんですよ。
2:39:11	ここで何で赤飯野にしてるかっていうと、これは43条の適合方針でそ れぞれ述べたことが違っているという、
2:39:19	ことなんです。
2:39:21	個別のところに来ると、関西のやつはほとんどが弁操作等によってって いう表現がずっと続くんですよ。
2:39:29	で、泊と伊方の場合は、SAにするたびに何か特別に操作していったり するような場合には弁操作等によってってという使い方をするんですけ ど、
2:39:38	基本DBと同じような系統構成でポンプをまわしてバルブを開けてみた いな使い方をする時にはこの表現にしているという形です。ですので抜 粋版の良いところを並べると。
2:39:48	同じになりますけれども、赤くしている理由というのは実はそういうこ とです。
2:39:54	規制庁秋本です。わかりました。それでも、同じになるんであれば同じ っていうことが、すぐパッと見て同じなんですっていうのはわかると 思うんで、もし可能だったら、
2:40:08	入れていただければと思います。
2:40:13	はい。北海道電力井谷でございます。ちょっと沿革から入ります。
2:40:18	今回の場所は伊方を梓学校以下なんかで貼り付けるようにいたします。
2:40:27	ちょっと言い訳的な部分になりますが、女川とほぼ言ってること変わら ないので、今回はってなかった。
2:40:37	他女川とも違うしおいても違うっていう場合はですね、なるべく貼るよ うにしてたはずですよ。
2:40:44	でもここはろうと思います。
2:40:47	以上です。はい。規制庁秋本です。趣旨理解しました。はい。
2:40:52	ありがとうございます。
2:41:01	はい、少々お待ちください。
2:41:07	規制庁秋本です。あと、18ページです。
2:41:12	18ページのところの環境条件のところは、
2:41:19	これは単純に多いと見比べていただけなんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:23	ところ1行目のところで、
2:41:28	電動補助給水ポンプを大岩入れてる一んですけど、
2:41:35	そういうこと。
2:41:37	わかりましょう。
2:41:40	問、何ていうかね、提示を分けているっていうことですね、理解しましょう。はい。
2:41:51	わかりました。ありがとうございます。
2:41:55	19 ペイジーですと、
2:42:01	これはなんすね、別に
2:42:05	何かちょっと多いと。
2:42:07	見てて、
2:42:09	だけなんすけど淡水。
2:42:11	またす海水が選択可能だって大井は言ってるんですけど、
2:42:16	泊わあ、
2:42:18	別にその選択は、
2:42:22	ていうわけではない。
2:42:24	いいですか。何ていうんでしょう。それはかなり何か理由はあるんですか。
2:42:30	はい。北海道田口です。
2:42:32	衛藤。
2:42:34	ここは何か大分前から多いと言い方、多いっていうか完成形の書き方とは書いていたところなんですけれども、
2:42:42	選択稼働というよりも、もう海水を通水する可能性があるっていう方が、
2:42:50	選択して淡水だったら関係ないのかっていうことではなくて、
2:42:54	我々の使い方をするとまず第1に先ほどちょっと話もありましたけど、改正を優先するというような考え方もあります。
2:43:01	ですので、海水を通水する可能性があるのかないのかで分けました。
2:43:07	選択できるのではなくて、
2:43:10	淡水しか変わらないところにはこれは書かない。
2:43:13	で淡水と海水を選択できるんじゃなくて海水を使うから、
2:43:18	配慮するという、
2:43:22	ちょっと小趣味の話に近いですけど、
2:43:26	規制庁アキモトですわかりました海水に対するケアはちゃんと書いてますということですね。はい、理解しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:36	これも記載ですけど20ページで、
2:43:39	一番最後のところで、別にちょっとどうでもいいっちゃどこでもいいんですけど常設の踏み台なんですけど、
2:43:45	踏み台と足場で何か別に名前を書いている何回とってあるんですか。
2:43:52	北海道田口です。衛藤。
2:43:55	準備しているものはほぼ変わらないと思うんですけども、言葉として足場っていうと単管パイプで組んでる足場のイメージが先行してしまうと、一方踏み台と呼んでるもの我々も、よりちょっと持ってって3段ぐらい上るようなものということで使い、
2:44:09	分けました。
2:44:12	規制庁秋本です。わかりました。確かに、足場っていうと、そうですね。パイプで作ったのかよって思われちゃうかもしれないっすねはい。
2:44:21	わかりました。
2:44:25	で、次の21ページとかでもそうなんですけど米田状況設備っていうのは、もう米津所合計じゃなくて余熱除去設備に、
2:44:35	するっていうことなんですね。
2:44:39	北海道、田口です。はい。
2:44:44	許可の、
2:44:45	並びの項の記載のところで余熱除去設備という記載を使っているので、
2:44:52	基本は余熱除去設備でいこうと思います何かの理由があってもちょっと使うかもしれないですけど、基本は設備でいこうかと。
2:45:10	規制庁秋本です。わかりました。
2:45:19	はい。
2:45:22	続き24ページですね。
2:45:28	24ページは、
2:45:31	伊方、ごめんなさい、大井の方で、
2:45:35	青字で、安全注入時及び再循環時っていうのが書いてあって、いや何で書いてないのかなって思っただけなんですけど、何か理由はありますか。
2:45:53	北海道田口です。
2:45:55	おそらく、
2:45:58	安全注入実再循環運転時以外がないから、
2:46:03	書く必要がないかなと考えたん。
2:46:07	と思っています。
2:46:10	一番違うかね。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:46:12	はい。特に、既許可でもこのような、北海道電力石谷です。既許可でもこのような書き分けをしていなかったのも、
2:46:25	そこにあえて足すことをしませんでした。
2:46:32	というのが、
2:46:39	規制庁アキモトです。まあまあわかりましたと。大井はあれなんですかね既許可から。
2:46:44	こういう書きっぷりをしてたっというだけなんですかね。そこは何かわかったりします。
2:46:53	北海道電力の石谷です。ちょっと大井について調べて、もし大井もあえて書き出しているということであるならば、
2:47:07	少し背景を確認して対応を考えたいと思います。はい。規制庁脇本です。わかりました。ちょっとご確認いただければと思います。
2:47:35	規制庁秋本です。29 ページなのですが、
2:47:41	米津助教の冷却器では余熱除去冷却器で、別にもうこれも記載だけなんですけど、
2:47:50	伝熱容量のところなのですが、
2:47:56	10-3 状況は、
2:47:58	どう、
2:48:01	何かメガにしなかったのは何かあれですかスペック的に。
2:48:06	なんか仕様書とかにこう書いてあるからってということなんすかね。
2:48:12	北海道電力、内谷です。こちらは、条件も含めて、
2:48:20	泊3号炉のを機設置許可において確かこれが開
2:48:28	この、この桁。
2:48:31	で、Aと書いてあったはずですよ。
2:48:35	はい。
2:48:36	わかりました。じゃあ、真木岡からということで、
2:48:39	規制庁アキモトです。30 ページ行っていただいて、
2:48:46	サンプルスクリーンの温度の差。
2:48:50	ていうのは、
2:48:52	それからでもS A時は141人していて、141。
2:48:58	ふうん。
2:49:00	ちょっと多いと。
2:49:02	少ないとこれはあれなのかな。
2:49:05	小関。
2:49:07	試してみても出てきた値っていう理解。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:11	でいいんですかね。
2:49:14	はい。北海道電力井谷です。最高使用温度 132 度が、これまでの、
2:49:22	事故における最高使用温度で 141 度っていうのが、今回新規性基準用の重大事故で出てきた温度です。
2:49:32	大井の 144 度がー。
2:49:36	要は設計、もともとの設計で、
2:49:42	想定していたもの。
2:49:44	超えなかった値なのかどうなのかごめんなさい今確認できてませんが、泊としては、設計基準の事故の運動と重大事故の解析から出てきた泊様の温度、
2:49:57	それを併記しているというものです。
2:50:00	はい。
2:50:01	わかりました。
2:50:03	そしたら、続いて 31 ページで図面なんですけど、
2:50:09	図面で
2:50:14	確認したかったのが
2:50:18	とマリーで、
2:50:20	高圧注入ポンプの前、吐出側というかですね、吐出側とかに、
2:50:27	燃料取替用水ピットから繋がってるっていうのは、何か戻したいだテストラインとかってことですか。
2:50:40	田口ですはい、その通りです。
2:50:43	規制庁アキモトですなんか
2:50:46	大岩、そこまで書いてないけどきっと大井もあるん。
2:50:51	ですかね。きっと。
2:50:53	ライン構成としては北海道田口ラインコンセプト実証だと思うんですが、もともと関西ぐらいの記載が許可で記載する系統図のレベルかと我々は思っていましたけれども、今回あの女川とかを参照していくと操作する弁とかが、
2:51:08	すべて表現しないと系統としてちょっと役に立たないということで大分追求をしております。
2:51:17	規制庁秋本です。わかりました。
2:51:21	あれそうずっとあれなんすかねの高圧注入ポンプ等、bの高圧注入ポンプの上のところ、
2:51:30	モーターのところ、冷却水
2:51:33	ですかね、Bはないのは何か。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:37	伊藤あるんですか。
2:51:40	ダイドー田口です。今回の新規制対応としてAの高圧注入ポンプだけ、代替補機冷却を使えるような構成に変えています。
2:51:50	規制庁秋本です。わかりました。
2:51:53	それ、そっか。
2:51:55	それで、
2:51:57	あとは、
2:51:58	香月カラー
2:52:01	出てくるのは加圧器逃し弁までか、太あごめんなさいこれ太線で、
2:52:06	使っている系統を太くするっていうことなんですかね。
2:52:15	北海道田口です。加圧器逃がし弁まで太くしているっていうのは植野大井能登航路も、
2:52:24	その感じでしたので実際には加圧器逃がし弁を抜けて、逃がしタンクに入ってラプチャーから吹き出すというような形にはなるんですけども、
2:52:34	いや、実は、そういう規制庁秋野で
2:52:38	大井のなんかふにゃふにゃ中つけおかしいタンクからのフィギュアっていうのもないなってちょっと思ったんですけど。
2:52:44	これわあ、
2:52:46	どうしようかなと思ってそれでですね伊方を見て見たら、
2:52:51	伊方は何か加圧器逃しタンクまで太線だったりしたんですけど、
2:52:58	寸まあ、
2:53:00	わかりやすさの観点なのか。
2:53:04	使っているところは書くっていうんだったら、
2:53:09	引っ張るのもあり得るかなあとは思いますが、ちょっとそこは、
2:53:16	他社の状況を見てもらって、これが正しいっていうんだったら正しいものはないかもしれないけど、これでいいんだっていうんだたらこれでもいいかもしれないんですけど、ちょっと他社も、
2:53:26	他のやつも見てもらって、
2:53:30	いただければと思いますと、あんま見られているとは思いますがどれがいいのかっていうところは、改めてちょっと、
2:53:37	見ていただければと思います。
2:53:40	で、次の32ページなんですけど、
2:53:46	32ページワーバルブの構成がちょっと、
2:53:49	と違うのかどうかを確認したかったんですけどただ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:55	泊でいうとダムの補助給水ポンプ、
2:53:57	駆動蒸気入口弁っていうところSGがワーなんですけど、
2:54:06	のところ2、
2:54:08	大井だと、2弁。
2:54:13	あるような感じで、何ていうんでしょう弁が並列で2面、
2:54:18	で4弁はある。
2:54:21	ですけど、
2:54:22	東りの場合は、2便だけ。
2:54:26	2弁使うその並列のA弁だけなんですけど、これはあれなんすか設計思想の違いとか何ですか。
2:54:36	北海道田口です。衛藤。
2:54:40	泊にも実際には
2:54:42	主蒸気管のループから取ってくるところに、電動弁はあります。
2:54:47	はい。ただそれは常時開のペイン。
2:54:50	ですので、
2:54:51	特に、
2:54:53	このシステムを使うために必要な操作が必要というようなものではないので、
2:54:58	書いていない。
2:55:03	だと思えますけど、
2:55:06	規制庁アキモトです。そうすると大岩。
2:55:09	1、常時締めるからバルブを変えてる。
2:55:18	すいません北海道電力古谷です。
2:55:21	技術的能力の図面ではですね
2:55:25	書き、電動弁を書き出してですねすみません45条側に展開する、するところができなくて、
2:55:37	申し訳ございません
2:55:40	御同じ図をベースに貼り替えたいというふうに思います。
2:55:50	規制庁秋本です。手順が91ページとかの図だと、確かにそうですね。ある、あるはあるんだと思って。
2:55:59	理解しました。
2:56:01	それは
2:56:04	展開というかまず、
2:56:08	手順の方が、
2:56:10	書いてるんだったら書くしかないっていう感じですかね。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:14	北海道田口です。これらの系統図っていうのは実は、手順側で作ったものを最終的に最後張り直すっていうのはやってるんですけども、今ちょっとまだその整合とるところまで至っていない段階です。
2:56:42	規制庁アキモトですわかりました。続いて 35 ページですけど、
2:56:48	35 ページはちょっと、
2:56:51	見づらいですけど、これまたあれです太線にするのしないのだけなんですけど、
2:56:58	蓄圧タンクまで、
2:57:01	不凍栓に。
2:57:03	なる。
2:57:05	のかなと。
2:57:06	主、
2:57:07	手はいますが、
2:57:09	何か今大きい、大きい図がまとめ資料の方を見ても、
2:57:15	太くはなってなかったので、
2:57:21	どういう考え方で太くするか太くしないのかっていうところなんですけど。
2:57:27	北海道田口です。
2:57:29	こちらの図で言ってるのはあくまでルールを示したかったというところがあったんですけど、確かに大井のものは、蓄圧タンクも太線なので、
2:57:39	使ってるものを示すということであれば、
2:57:43	太くするのかなと今思いました。
2:57:46	規制庁脇本ですでも、その考え方流路。
2:57:50	流路でも、流路っていう考え方でもいいかもしれないですけど流路としても使ってると思うので、はい、わかりましたそういう意味で 32 ページ比較表の 32 ページ戻ってもらうと、
2:58:01	S G も、
2:58:03	あれですかね、
2:58:05	普通の線になっちゃってるから、
2:58:08	そこも適正化しておいてもらったらいいかもしれないです。
2:58:16	北海道田口です。同じ考えで統一にいたします。
2:58:23	規制庁秋元です。あと 36 ページで、
2:58:31	大したことではないんですけど
2:58:34	リーカ。
2:58:36	サンプルスクリーンのところの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:58:40	上2歳成年交換機って書いてあるのはこれ誤記ですか。
2:58:48	北海道田口すみません消し忘れです。
2:58:56	そこ、規制庁アキモトですこういうところまで一応チェックしていただいて提出していただきたいと。
2:59:05	思います。
2:59:14	規制庁秋元です。で、42ページですね。
2:59:20	42ページの
2:59:25	真ん中ぐらいのところで5.11のx表って出てきたんで、これは、
2:59:31	数字がまだ決められてないからっていうことですかね。
2:59:35	工藤田口です。はい。すみませんちょっとその、最終的にどのようにするのかというのも決まっていなくてXという仮で入れております。
2:59:46	成長秋本ですわかりました。
2:59:48	それで、43ページは、
2:59:53	単純にそのおいとの比較だけなんですけどどう材をいう材料を書いているようなんですけど、
3:00:01	泊は書かないんですか。
3:00:04	北海道田口です。
3:00:07	大井の朴木さ比較のために掲載してますけれども、こちら新規制対応として今回補正のときに出した資料です。
3:00:16	我々も同じようなものを書こうと思って実は作っていました。
3:00:22	だけれどもこれが設計基準拡張になったらどう書くのかというのを、長尾参考に見てみると、どうも聞くものを書いていると。
3:00:30	それは設計基準拡張だからという。
3:00:34	ですので、我々も同じように、何か、
3:00:38	あれですよね女川の方だと、蒸気タービン型式1ぐらいしか書いてない。
3:00:42	資料なんですけれども、それで今回、
3:00:46	補正しているということがわかりますので、
3:00:48	我々も既許可の値、
3:00:51	載ってるものをそのまま載せるということにしました。
3:01:03	規制庁秋本ですわかりました。じゃあ、とりあえずは起業家のものをそのまま持ってくるだけと。
3:01:11	はい。
3:01:20	次のページの44は、
3:01:24	SGを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:01:29	一次冷却設備のところに書きますよってということで、はい。
3:01:35	整理の仕方だけってということでいいですかね。
3:01:40	はい。北海道田口です。その通りです。どの、
3:01:45	何て言うんすかね。
3:01:46	許可の項番5のところに書くかという違いです。
3:01:50	規制庁秋本です。はい。私からは以上ですが、ちょっと細かいところに何か誤記だとか、
3:01:59	がまだあるので、
3:02:03	何ていうんでしょう、1回見たら大丈夫だと思うんですけど、
3:02:09	本当に、
3:02:10	今のチェック体制で、
3:02:12	大丈夫ですかって思いません。今のこの資料が出てきている状況で、
3:02:20	どうですか。
3:02:24	はい。北海道電力石川でございます。今のチェック体制で、一生懸命や ってるつもりですけどもこういうものが出てきてるって事実ありますの で、また、今のままでいいというふうには思いませんので、またチェッ クの体制、やり方、
3:02:37	もうチェックの対策に13年やってきてはいるんですけども、ちょっと やり方も含めて考えていきたいと思います。申し訳ございません。
3:02:46	何か。
3:02:48	規制庁が基本的なずっと何かこれを同じような、数ヶ月やってても出て きちゃうっていうところデータ、
3:02:56	わかるんですけど、何ていうんでしょう。うん。我々も、
3:03:00	いろんな文章作ってて、
3:03:02	理解は、
3:03:03	するんですが、可能な限り減らす方向でちょっと努力をしていただけれ ばと思いますと、あれはあんまり
3:03:12	我々、
3:03:14	チェッカーとか誤記チェッカーじゃないので、そこだけはちょっと、
3:03:19	注意していただければと思います。
3:03:22	その他いかがでしょうか審査官。
3:03:28	規制庁片桐です当間保護記載なんですけど45-1ページお願いします。
3:03:38	一番下のところにタービン動の補助給水ポンプが電源なくて起動できな いっていう後に、かつ中央制御室から、
3:03:48	起動できない場合っていう記載になってて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:03:51	女川見る等、高圧炉心スプレイ系とR C I Cが電源なくて起動できないかつ、Hパックが中央生業室から起動できない場合っていう記載になってて、
3:04:06	何かもうそもそも電源なくて起動できないというので言ってるのに中央制御室からの操作により起動できないよ、何か活でつなぐのがちょっと何か、
3:04:16	違和感があるなと思うんですけど、そこはいかがでしょうか。
3:04:26	はい。ここは井戸田口です。
3:04:28	おっしゃってる意図は理解いたします。
3:04:34	この場合だと女川の方でも想定してるのは動かないという、
3:04:40	電源がなくて動かないということを想定してると理解してるんですが、
3:04:53	はい、北海道電力橋田新居です。
3:05:00	ちょっと、
3:05:01	構文を、
3:05:03	真似し過ぎた。
3:05:06	かもしれません。
3:05:10	今宿流電源の機能喪失、1個目の機能喪失により、
3:05:19	中央制御室から起動できない場合、みたいな感じで二つの要素を一つに、
3:05:25	するのも良いかと今思いましたが、
3:05:29	いかがでしょう。
3:05:30	規制庁片桐でそんなイメージですなんか、もうそもそも電源なくてはいけないね良い会長養成事業2日だけできないって。
3:05:38	書かなくてもいいかなっていうような気がしたのでちょっとそこは、整理してみてください。
3:05:44	はい。
3:05:47	はい。承知いたしました。
3:05:51	で、規制庁から一声、これちょっと45-3ページなんですけど、
3:05:56	何か一次系のフィードアンドブリードっていう説明があってその後ろって何かその一次系の略してフィードアンドブリードだけになってこれ先行も一緒なんですけど、
3:06:10	ここって何か意識して書き分けてるんでしょうか。
3:06:17	北海道電力、内谷でございます。設営設備5、45条としては一次冷却系のフィードアンドブリードしか出てきませんけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:06:31	その自主対策設備までいくと、二次逆系のフィードアンドブリードっていう手順もあったかと認識してございます。
3:06:43	ですので、これは一次冷却系のフィードアンドブリードっていう、手段の名称でありますけれども、
3:06:53	ここでただ単にフィードアンドブリードって言ってるのは、何ていうんでしょう、水を入れてそれを外に出すっていう、
3:07:00	行為。
3:07:02	一般名称としてフィードアンドブリードというふうに、
3:07:07	書いているというふうに理解して使っ
3:07:11	ていたというのが、今の作りです。
3:07:14	以上で赤木規制庁から一次系のつてつく時は手順なり対策みあってフィードアンドブリードって書いてる時はもうフィードアンドブリード運転みたいな使い分けということよろしいでしょうか。
3:07:29	北海道電力の石谷です市谷井は、そういう理解で使っておりましたけれども、技術的能力さんと、それだと、何かそういう使い方だとセットになるよっていうんであればちょっと、
3:07:43	検討しますけども、
3:07:45	ちょっと確認して正しい、正しい形にしていただければいいと思いますんでよろしくお願いします。
3:07:54	で、規制庁ができて次 45-7 ページこれも記載だけなんですけど、一番上のところに全厚電流動力で全交流動力電源が喪失しのところで、
3:08:05	これ補助給水ポンプの運転に必要な女川のところは継続をグレースアウトしてあって、ただ最後の方は運転継続に必要なっていうふうに、また、継続はこっちは、泊は取り込んでるっていうところなんか、
3:08:21	ここ何か変えた理由ってあるんでしょうか。
3:08:26	はい。北海道電力の田口です。
3:08:29	ここの部分どうしようかちょっと考えて、この記載にしましたというのは女川の方は、直流、
3:08:37	全銀
3:08:39	等、蒸気駆動のポンプを使っていますので、
3:08:43	そのポンプと交流駆動の我々モーターもあれば終わりっていうもので、起動または運転継続っていう言い方が本当にいいのかと。
3:08:51	いうところですので、我々の方は交流モーターなのでただ運転に必要な電源が来ればいい、そのあと運転継続できるというところを同じ考えですというので今の表現にしています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:09:01	規制庁岡崎座了解しました。
3:09:05	ちょっと次 45-18 ページお願いします。
3:09:13	これも記載だけなんですけど一番上のところの高圧注入ポンプ云々のくだりで、
3:09:19	環境条件を考慮した設計とCで区切って、また、このんね取ピットは設計とするって書いてて、
3:09:27	何かここら辺の記載って全部文章を分けてるような気がするので、
3:09:34	OKとスルーで切ってもいいのかなと思うんですけど、そこはいかがでしょうか。
3:09:42	はい。北海道電力田口です。
3:09:45	はい、おっしゃる通り分けてもいいかなというのは、はいそう思います。
3:09:51	なんですが、今書いているのは一番最初の段落で言いたいのは、それぞれの設置場所の環境条件を考慮しますということをもとめて、一段落で表現したかった。ただ、いろんな建屋にあるので分けざるをえなかったというのが実態です。これを2段落に分けて、
3:10:05	でも意味として一緒なんですけれども、
3:10:09	どうかな、ちょっと考えたいと思いますが、規制庁から飯沼ほかのところの記載もあると思うんで、そこを確認して適正化いただければと思います。私からは以上です。
3:10:24	規制庁長屋です。ちょっと私からもちょっと
3:10:28	その文章の記載とあと図面のところを先に行った方がいいかなと思うんで、
3:10:35	すいません、図の大きい方がいいのでまとめ資料の方で、図とか文字が大きいのですみません。
3:10:42	45 の
3:10:45	19 ページ。
3:10:51	これって何ていうか
3:10:54	図のタイトル第 5、5-4-1 図っていうのは横書きで、それで図面が A4 の横に、
3:11:02	してみるんですけど、その横にしてみるとここのタイトルがわからないので、この図の下にね、その第 5-4-1 図っていうこのあれを
3:11:12	移動していただけるようにしていただけないでしょうか。ちょっと何回もみあたり左やったり確認したりするってちょっと面倒なんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:11:22	できればそうしていただくとちょっと見やすくなると思うんですけども。
3:11:27	はい、北海道電力田口です。
3:11:30	江藤。はい。おっしゃってることは、はい。わかります。わかります。
3:11:36	実際後ろの方の系統図で菊川のものとかを引っ張ってきている、最後の45-28ページみたいなところのイメージということでおっしゃってます。
3:11:45	この縦型の家通に横の系統図を張ってというこのスタイルで実は新規制のものは全部この形で準備しているのが今実態ですので、
3:11:55	はいそちらの方が、規制庁の那須わかりました。
3:12:00	最低限の要件を満たしているので、ベター面との話と理解融資はしましたので、はい。
3:12:09	で、これから何か新しく作るようなものは、そういうもので、何かできましたら、
3:12:16	そちらの見やすいような工夫はしていただければと思います。それで、ちょっと今度、文字んなんていう書き方の話でちょっと今、
3:12:27	何回かやりとりがあって、ダブるところもあるかと思うんですけどもう一度ちょっと私の方からもコメントしたいと思うんですけどまとめ資料の方の45の2ページのところなんですけど、
3:12:43	ここの一次冷却系の(1)のローマ数字ちっちゃい(1)の二次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却ってところの、
3:12:54	この文章なんですけどここ、かなり
3:12:58	長く
3:13:01	書かれて私の理解は、フィードアンドブリードっていうのは、最初
3:13:08	高圧注入系ですが、高圧注入系の
3:13:14	注入等、それから加圧器逃がし弁のフィードアンドブリードがセットになって、
3:13:21	その注入モードのときは、
3:13:25	取り燃料取替用水ピット、
3:13:28	注水してるんだけど、
3:13:31	それがある期間、
3:13:35	フィードアンドブリードの
3:13:37	加圧器逃し弁からで下のタンクが壊れ、壊れて破裂するのか
3:13:43	あと、その他、サンプの方に柿木サンプの方へ水がたまるんで、
3:13:47	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:13:49	コア注水系の再循環運転モードに切り替わると。
3:13:54	で、それを、そのあとずっとその最新コア注入の再循環モードで減圧して行って、
3:14:01	その
3:14:02	そのあとに、177度ですかね3キロ弱、30キロ弱ぐらいのところで、その余熱除去系に、
3:14:12	切り換え切り換えて、冷却を引き渡して
3:14:19	安全停止に持っていくっていうふうに理解してるんですけど。
3:14:23	それはそういう理解でよろしいですか。
3:14:27	工藤電力田口です。今使用方法に関するところは、ちょっと記載場所が適切かどうかはあるんですけども、
3:14:38	一応書いているところがあります。流れとしては最終的に余熱除去ではなくて最終的にどう色なかったら、
3:14:46	高圧再循環、
3:14:48	というような順番になっています。
3:14:51	規制庁の綾部さん。45-2ページの一番最後の方に再循環の話がまた、
3:14:59	出てくるんで、そのBだべろの場合って何て言うんすかね
3:15:04	まさにちゅ
3:15:05	注入してその再循環して冷やして、その遮断というか停止冷却モードに行って、冷温停止っていう形で、また元に
3:15:15	何て言いますか、ECCSの再循環ってをやらなくて、
3:15:19	何キロ炉圧で何キロ以下になればもうそのままその停止冷却でずっと下げていくっていう運転してるんで、その
3:15:27	このところ、事実関係だけ事実関係で挙げてPWRそういうプラクティスだっていうんだったらあれなんですけど、最終的に余熱状況で冷却した後にさらに、
3:15:38	最終的には
3:15:40	また暑う再循環という形で除熱できるということだと思うんですけど。
3:15:45	に持ってくっていうのが普通の手順なんですか。
3:15:52	北海道田口です。普通の手順ではなくて、RHRが使えるのであればそこで終わりです。
3:16:00	あれっていうのも使えない場合に、どうほっとくわけにいかないんで、高圧再循環でフィードアンドブリードを継続するというのが新しいSAの対策として立てたものです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:16:10	これらのものがいっぱい設備が重なって書かれてしまっているんですけども、それぞれが何て言うんすかね。普通の運転のときに、事故時でもDBの事故でもいいんですけどその時に移行するような条件とちょっとフィードアンドブリード使う時の、
3:16:26	移行していく条件の取り方が違うので、
3:16:31	フィードアンドブリードと、RHR運転と高圧再循環みたいな分け方がちょっとできなかったので、一連のものでフィードアンドブリードということで我々はとることにするのでちょっと設備数が多くなって、
3:16:42	います。
3:16:43	わかりづらいという印象です。この45-2ページを親権者にずっと読んでいくと、何ていうんすかね米津
3:16:53	停止時の除熱ができない時にはまた、高圧再循環に戻るとかっていうのはちょっと読みきれなくて、普通の一般、一般的に考えると、
3:17:04	高圧注入で、減圧減をした後は、まずは
3:17:10	何ていうんすかね。停止冷却に持って行ってそこで、基本的な流れとしては、あって、ただしなぜ今おっしゃったように
3:17:21	停止時の冷却ができてきて市余熱除去設備は使わないときはまた、再循環に戻るとかっていう話が明確に読みトレイないんですけども、
3:17:38	北海道田口です。ちょっと文章が長くなってわかりづらいというのは、
3:17:44	同意、
3:17:45	なんですけど、記載としましては、45-2ページのところで言うと、いっぱい設備を書いているところは構成設備をただ書いてるだけでして、
3:17:56	その構成設備いっぱい書いた後に高圧注入ポンプによる河川が入った部分。
3:18:01	その部分からのフィードアンドブリードの使い方で今おっしゃっていただいたように、
3:18:06	きちんとまずは、
3:18:08	冷却しますと、フィードアンドブリードでというところで、継続できる設計とするという。
3:18:14	黄色いOBが入っているところのあたりまでで1回切れます。
3:18:18	その後ろにまた入っているところからが、フィードアンドブリードやった後に、
3:18:24	余熱除去運転で低温停止状態にできる設計にまずしますと。
3:18:28	ということでそれが取ればそこで終わりなんですけれども、
3:18:32	さらに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



3:20:57	確かにひとまとめにしてフィードアンドブリードですと今ご説明をしていますので、これが1まとまりの流れであるという、だから1時閉&ブリードその1その2その差みたいな形のタイトルをつけて、
3:21:10	流れがわかるような形にはしようかと今思いました。
3:21:16	記事の流れですそれとあわせてやっぱりもう少し何か、そんなに大きな手を入れる必要はないんですけど
3:21:25	45-2 ページ目の方も、何か、
3:21:29	もう少しこう、
3:21:31	書いている内容が悪いと言ってるわけじゃないですけど、すごく御説明聞かないとわかりにくくなっていうのはちょっと。
3:21:38	あれなんで、見直しが可能であったらこのちょっと見直しいただければと思います。
3:21:45	田口です。検討いたします。
3:21:48	規制庁の流れそれとあとちょっと文章のところで
3:21:52	また議論になって恐縮なんですけど、45-2 ページのところの、
3:21:57	今の一次系のフィードアンドブリードのところの
3:22:01	真ん中辺りですかねアンダーライン引いてる。
3:22:04	高圧注入ポンプにより、燃料取替用水ピットの水を、
3:22:10	高圧注入系により原子炉容器へホウ酸水を注水して書いてるんですけど、これって、
3:22:18	そのピットの話を書かれてるんですけど。
3:22:20	要は燃料取替用水ピットは水、デビットのところのホウ酸タンクがあるんで、そこを經由してっていう意味だと思うんですけど、
3:22:30	これが
3:22:31	水とね、燃料取りかえFIT水とホウ酸水を注水っていうのはちょっと文書でこれ読めないと思うんで、
3:22:40	そこはちょっと工夫していただければなと思うんですけども。
3:22:46	はい。北海道田口ちいです。
3:22:50	ここの辺りは、
3:22:53	小野側の構文をかなり、
3:22:55	意識して書き換えたところですので、ただ、水とホウ酸水が出てきてどっちなんだみたいな感じにもなってます。ただ、女川の方で書いている標準パターンであれば、
3:23:07	燃取ピットの水を高圧注入系によりじゃなくて高圧注入系にて原子炉容器へ注水しというような表現が標準的だと思いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:23:17	ちょっと考えて直したいと思います。規制庁永井です基本的にはホウ酸水を注水するのが多分これは
3:23:26	この
3:23:27	時点ではもう目的じゃないんで水を注水するってことですよね。
3:23:36	鈴木規制庁ながらですそれからですね
3:23:40	次の45-3ページの方に行ってください、
3:23:45	その上の方の半分のところやろ。
3:23:48	その他設備ってところで蓄圧注入系の蓄圧タンクっていうのが登場してるんですけど、
3:23:55	フィードアンドBどう、高圧注入系注水系で
3:24:02	一次系にこうや、減圧数減をしていくときにその
3:24:08	蓄圧注入、
3:24:10	関空が作動して、おそらくその40キロぐらいで作動して、そのあと
3:24:17	地下注入系の
3:24:21	弁を閉じると思うんですけど、あと、停止冷却系のやつは、戻り側の、
3:24:27	蓄圧注入ラインのところ、閉じた等で使ってたと思うんで、絵で見ると、
3:24:34	このフィードアンドブリードの中にはその蓄圧注入系っていうのはその何ていうかね、多分、現象的には作動して、何らかの効果はあるんだけど、
3:24:46	その明示的に
3:24:48	フィード&ラインの一員としては登場しない。
3:24:52	ということなんでしょうか。
3:24:55	はい。北海道の田口です。今お話いただいたような考え方でここには設計基準拡張として今整理をかけています。
3:25:04	ただ、実際のところいうとこれをすべて設計基準拡張と呼んでいいのかっていうところはまだちょっと内部では議論が続いてまして、
3:25:13	最終的には、
3:25:15	どう書くかっていうのあるんですけども、今お話いただいたような内容を、
3:25:20	今、今ですね文章が長いとは言われているんですけども、上の方の中で、減圧過程において今おっしゃられたようなことを記載するという案も実はあります。
3:25:30	で、その場合には、ただそこに書いた上で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:25:33	設計基準拡張とするとか、主要な設備として蓄圧タンクとか曲げるのか みたいな。
3:25:39	とにかく能動的に動かすというよりは、
3:25:43	自動的に入ってくるだけのものなので、
3:25:45	この
3:25:46	設備を使わないとも言えない。これをどうかこうかというのはちょっと まだ、3段に余ってる場所ですけども
3:25:53	現状と、
3:25:54	我々が良いとしていることはご理解いただいている通りです。規制庁ない ですわかりました
3:26:02	あんまり保守的な話じゃないんで、1000 個。
3:26:06	戦後との比較分もあるんで、とりあえずそういう取り扱いかなとは思っ てますので、
3:26:13	また今後たい、何か機会があればということで結構です。
3:26:17	それから
3:26:18	同じくこの 45-3 ページのところね、
3:26:21	今度別の話なんですけど
3:26:25	下の方の半分ぐらいの山の中で
3:26:33	蒸気加減弁の操作並びにとか、あんなライン引いてる、真ん中あたりな んですけど、入力によるタービン動、
3:26:40	補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁の操作により起動し、
3:26:46	蒸気タービン駆動ポンプによる補助給水ピットの水、蒸気発生器へ
3:26:51	給水及び主蒸気逃がし弁を入力で開操作することによって書いてるんです けど、
3:26:58	この行為ってずっと前から続くんですけど、注水するっていうところ で、一つは、
3:27:05	てるんで、それで、
3:27:07	及びって主語がもう全然違ってここは周期主蒸気逃がし弁を使って、 減数ウェア除熱するっていうことなんで、ここで聞いた方がいいんじゃないかと 前段で注水する。
3:27:20	にして、またとかっていう話でその主語が違うので、
3:27:26	ずっと同じ
3:27:28	タービン動補助給水ポンプが全部やるわけではないんで、
3:27:32	永石っていうことなんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:27:36	北海道田口です。はい。こちらも長いというところは重々認識してこう書いてきてました。
3:27:43	というのも、この文章の結びで何を書きたいかという、アンダーライン引いているところの、なおの前ですね。
3:27:52	今日は冷却を継続できる設計とするということを書きたいんですけども、
3:27:56	注水だけとか、蒸気放出だけでは当然成立しないので、両方を行った上で、
3:28:04	冷却できるという文章を書きたいがために、おっしゃってることはわかります。二つのことをつなげて、この二つで、
3:28:13	冷却してるんだよということを書いたら長くなったという、
3:28:17	規制庁ないそうすると注水するとともにとかっていう、その
3:28:22	書き書きぶりとしてはその注水っていう及びって書い書いちゃうと、何かそこで切れちゃうんですけど、
3:28:30	何か
3:28:32	私は昔でもいいかなと思ったんですけど、おっしゃる趣旨でいくと、
3:28:37	注水するとともにっていうことで、
3:28:40	ここで前の話と、
3:28:43	後段の話は変わるのかなっていうぐらいのイメージにはなるんじゃないかと思うんで、ちょっと
3:28:50	ちょっと書き方これこれでもいいかどうかってわからないですけどちょっともう少しセットしていただけますか。はい。北海道電力田口です。おっしゃったように理解いたしました。検討いたします。
3:29:01	安芸社長の話よろしくお願いします。それから
3:29:06	その並びでですね主蒸気逃がし弁を人力で、
3:29:11	開操作するっていうところを書いてるんですけど、これよく出てくるワーディングなんですけど、三行ぐらい4行ぐらい下でなお、
3:29:20	なお書きの通り人力による措置は容易に行う設計とするって書いてるんですけど、
3:29:25	この
3:29:26	人力の操作っていうのが、そのSG、主蒸気逃がし弁でしたっけ使用逃がし弁の指導で、
3:29:36	開放してハンドルをまわして開放するっていうのと、
3:29:40	タービンの補助給水ポンプを、
3:29:43	工具を使って

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:29:45	動かすっていう話だと思うんですけど。
3:29:47	うちも人事キーワその現場でっていう、
3:29:53	作業ですよ。だから、その設計上もその
3:29:56	現場でそういう操作ができるっていう設計なり操作なりっていうことなんで、必ず人力でっていうところの前に、
3:30:07	その元人力で現場で改装させるとかその、
3:30:12	人力と要は現場っていうのが、
3:30:15	もうセットで進められた方がいいんじゃないかと思うんですよだから
3:30:18	人に聞いによるっていうのは必ず現場でやるから、それを、何か人力っていうのは単独でつけられたりして
3:30:28	物によってはその現場での人力の何とかっていうのが書かれてってそれが混乱してるので、統一的に
3:30:36	現場と人力をこう間つけるように全体で
3:30:40	見直していただければと思うんですけども、
3:30:43	相田電力田口です。おっしゃってること、はい、そうです。
3:30:49	現場でのってついてるようなところ使い方を実際に示しているところっていうのは、
3:30:54	現場で人力で動かすんですといったような表現を使って、ちょっと完璧かどうかわかんないすぎると思っています。このなお書きで書いているところっていうのはこれ、基準適合の設計方針として、
3:31:06	基本は可搬型をもって、
3:31:09	準備しなさいって言うてる中で、
3:31:11	除外の規定として、人力による措置が容易に行える場合を除くと書いているので、それにて該当してますということを宣言している。
3:31:20	部分だから可搬型の設備を持って、
3:31:23	準備してないんですよということを意図するために書いてる中取ってつけたような設計方針になってるんですけど、それは基準として求められていることが人力で十分なんですだから、最も
3:31:34	過半は設置しませんと。
3:31:36	いうことの宣言の意図で書いている部分です。ただ、おっしゃったようにここで、現場でのというのを頭につけたら何か変わるかと言われれば、変わらないので、
3:31:47	ちょっと全体的に見て現場でののが抜けているようなところがあれば、検討したいと思います。社長の話はおそらく
3:31:54	人がその稼働元稼働元として

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:31:58	採用して、そこに行くっていう、大体の考え方なんで、やっぱり現場ってあった方がほぼなんか座りがいいのかなという、それだけの話ですけど。
3:32:09	はい。
3:32:13	それからもう一つなんですけれども、
3:32:17	次の45-4ページなんですけれども、
3:32:22	ここの括弧のローマ数字の小さいほうの2の、蒸気発生器二次側からの除熱により発電用原子炉の冷却、
3:32:33	括弧、代替交流電源設備による、
3:32:36	電動補助給水ポンプの給電のところで、多分この
3:32:41	代替交流電源設備、代替交流電源設備っていうのがそのガイドとか、その基準のことバー。
3:32:48	なんだと思うんですけど、その
3:32:50	皆さんの設備自体は常設代替。
3:32:54	常設代替交流電源設備っていうのが、その正式名だと思うんですけど、
3:33:00	この、この二つの基準、基準とかの代替交流電源設備っていう使い方と
3:33:10	実際の泊さんの設置されている、常設でついてる言葉が
3:33:18	かぶつかぶってですね
3:33:20	わかりにくいと聞いが、
3:33:23	あるんですよ。
3:33:25	で、
3:33:27	そうなんですよ。だからそのそいつは
3:33:31	嘘そういう理解で一応読んではいらんですけど
3:33:36	何となく
3:33:38	読む人は、
3:33:40	必ず、読みにくいかなというふうに思いましたということだけです。
3:33:46	特に直すとかそういう話じゃないんで、
3:33:53	それから
3:33:56	あと最後なんですけれども、45-4ページの下の方の半分のところですね、
3:34:07	とアンダーラインが引いてるところの下から2行目ぐらい、蒸気発生器二次側からの除熱のために起動した補助給水ポンプの作動状況を確認できる設計とするとしてるんですけど、
3:34:19	ここの補助給水ポンプっていうのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:34:22	電動なのか、タービン動なのか、おそらく両方ではないかと思うんですけど、他のやつは何もしてきたんですけど、電動とかタービン動をはっきり
3:34:34	させようよっていう話をしたと思うんですけど。
3:34:37	ここは
3:34:39	その間Cなんで、その両方っていうふうに、
3:34:43	とらえてるんですけどそれは、
3:34:44	いう。
3:34:46	よろしいですか。
3:34:49	須藤電力田口ですはい。電動とタービン動の両方を指して補助給水ポンプの作動状況と、
3:34:55	表現してます。
3:34:56	これも何て言うんすかね
3:35:01	監修慣習とするのか、その
3:35:04	何て言うんすかね。電動及びタービン動補助給水ポンプみたいにするのが、
3:35:10	いいのかっていうのはちょっとあの真面目な、何とも言えないんですけど、わかってる人はそういう使い方をしてるんだっていうのもあるかもしれないんですけど、ちょっと、
3:35:20	個人的にはその電動及びタービン動って書いた方が、
3:35:24	わかりやすいかなというのちょっと。
3:35:28	言っときます。
3:35:30	私は以上です。
3:35:44	規制庁秋本ですそれでは、その他、こちらからはありませんので、北海道電力からの説明は以上でよろしいですか。
3:35:56	何か補足はありますか。
3:35:58	言っておきたいことを聞いておきたいことありますか。
3:36:06	はい。北海道電力から特にないんですけども、本店側から何か、あと泊から何かありますか。
3:36:15	石谷神原からはございません。
3:36:17	はい。内谷さんも何かありますか。
3:36:23	ございません。
3:36:26	はい。
3:36:27	ではありませんので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:36:30	規制庁アキモトですそれでは本日のヒアリングを終了いたします。お疲れ様でした。
---------	--

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。